

第2部 事業評価

1. 評価の概要

(1) 評価の目的

組織としてのマネジメント力かどのような状況にあるか、また、現在、提供されているサービスの質がどのような状況であるかについて、第三者評価機関が経営層及び職員の自己評価を事前に分析し、訪問調査を実施した上で合議により評価を行った。

カテゴリー1：リーダーシップと意思決定

カテゴリー2：経営における社会的責任

カテゴリー3：利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

カテゴリー4：計画の策定と着実な実行

カテゴリー5：職員と組織の能力向上

カテゴリー6：サービス提供のプロセス

カテゴリー7：情報の保護・共有

カテゴリー8：カテゴリー1～7に関する活動成果（前年度比）

(2) 評点の付け方

上記カテゴリー1～7（活動状況：今年度）の評点は評価項目ごとに、下記ルールに基づきつける。

| |
|---|
| 評点<カテゴリー1～7> |
| 評点は、標準項目の実施状況を以下のルールに基づき、記号化したもので、評価項目ごとにつける。 |
| 1. 標準項目の実施が確認できた場合は○、未実施・確認不可の場合は●で表す。 |
| 2. ○及び●が混在する場合は、標準項目の場合にかかわらず、左端から○を配列し、●は右端に寄せて表す。 |
| 3. 「非該当」が選択された標準項目は、評点の構成要素からのぞく。 |
| 標語<カテゴリー8> |
| 1. 改善に向けた計画的な取組みが行われており、成果として現れている。 |
| 2. 改善に向けた計画的な取組みが行われているが、成果として現れていない。 |
| 3. 改善に向けた計画的な取組みが行われていない。 |

「標準項目」を確認することができる（出来ていることが確認できる）のは、以下の①～③すべてを満たした場合である。

- ① 事業者が当該事項を実施していること
（項目の示す内容が「できている」状態である）
- ② その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること
（偶然できているのではなく、再現性がある）

③ その根拠が示せること
(資料等で具体的に示すことができる)

(3) 訪問調査とフイードバック

評価者による訪問調査及び評価結果のフイードバックは、以下の日程で行った。

| | 訪問調査日 | フイードバック訪問日 |
|-----------|--------------|-------------|
| 1 上荻保育園 | 平成 27 年 11 月 | 平成 28 年 1 月 |
| 2 和泉保育園 | 平成 27 年 12 月 | 平成 28 年 1 月 |
| 3 大宮保育園 | 平成 27 年 11 月 | 平成 28 年 1 月 |
| 4 大宮前保育園 | 平成 27 年 11 月 | 平成 28 年 1 月 |
| 5 高井戸保育園 | 平成 27 年 11 月 | 平成 28 年 1 月 |
| 6 高円寺北保育園 | 平成 27 年 11 月 | 平成 28 年 1 月 |
| 7 高円寺南保育園 | 平成 27 年 11 月 | 平成 28 年 1 月 |
| 8 荻窪北保育園 | 平成 27 年 11 月 | 平成 28 年 1 月 |

2. 各保育園の評価結果報告書

園ごとの評価結果報告書は、それぞれの通りである。

| | |
|------------|-----|
| 1. 上荻保育園 | 47 |
| 2. 和泉保育園 | 77 |
| 3. 大宮保育園 | 107 |
| 4. 大宮前保育園 | 137 |
| 5. 高井戸保育園 | 167 |
| 6. 高円寺北保育園 | 197 |
| 7. 高円寺南保育園 | 227 |
| 8. 荻窪北保育園 | 257 |

1. 上荻保育園

上荻保育園



| | |
|------|---|
| 調査対象 | 利用児127名の保護者115世帯。調査票の記入者：調査票の記入者：父5名、母65名、父母一緒17名、無記入9名。調査票記入者の年齢：「25～30歳未満」2名、「30～40歳未満」50名、「40～50歳未満」22名、「50歳以上」11名、無記入11名。 |
| 調査方法 | クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内に設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接当評価機関へ直接投函していただいた。 |

| | |
|--------------------|------|
| 利用者総数 | 115 |
| 共通評価項目による調査対象者数 | 115 |
| 共通評価項目による調査の有効回答者数 | 86 |
| 利用者総数に対する回答者割合(%) | 74.8 |

利用者調査全体のコメント

・総合的な感想は、「大変満足」49名(57.0%)、「満足」24名(27.9%)、「どちらともいえない」6名(7.0%)、不満1名(1.2%)、無記入6名(7.0%)であった。「大変満足」および「満足」と返答された方々は、回答者の84.9%であり、保育サービスに對して高い満足を得ている。
 ・回答者の80%の方々が満足と答え、満足度が高い設問は、問1「食事の工夫」、問2「戸外遊びの工夫」、問4「安全対策」、問6「家庭と保育所の信頼関係」、問7「職員の関心姿勢」、問8「清掃・整理整頓」、問9「職員の接遇・マナー」、問10「緊急時の対応」、問12「子どもの気持ちへの配慮」、問13「フライング」の保護」、問14「保育内容の説明」であった。
 ・自由記述では、「仕事を続けられるのも職員の方々のお陰です」「子どもたち一人ひとりをよく見て、その子にあった対応をしてくれている」「保育記録を毎日楽しく読んでいます」などの声が寄せられた。

利用者調査結果

| 共通評価項目 | 実数 | | | |
|--|----|---------------|-----|------------|
| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無回答 非該当 |
| 1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか | 83 | 1 | 1 | 1 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の96.5%で、提供されている食事に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「子どもに合わせてよく考えられていると思う」「家でも参考になっており、大変質が良い」等の声が寄せられた。 | | | | |
| 2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか | 73 | 9 | 4 | 0 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の94.9%で、自然や社会との関わりに関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「遊びのメニューも工夫してくれている」「楽しいなりに工夫されている」等の声が寄せられた。「いいえ」と返答した方々からは、「いつも決まった遊びばかりをしているように感じる」「庭が狭く思いきり動けない」等の意見が寄せられた。 | | | | |
| 3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか | 59 | 12 | 4 | 11 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の88.6%、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の14.0%であった。「はい」と返答した方々からは、「延長スポットはかなり助かっている」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「柔軟ではないが、そこまで要求できないと思います」等の声が寄せられた。 | | | | |

| | | | | |
|--|----|----|----|---|
| 4. 安全対策が十分取られていると思うか | 73 | 10 | 3 | 0 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の84.9%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「出入り口の門の施錠が、自転車用のワイヤーロックでは少々不安」「園庭がせま」「園児数が多すぎるように思う」「園の安全対策の方針をよく知らない」等の声が寄せられた。 | | | | |
| 5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か | 43 | 29 | 12 | 2 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の50.0%で、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の33.7%であった。「はい」と返答した方々からは、「日程等の連絡は早めにご知らせがあるのでも困りません」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「土日だと助かります」等の声が寄せられた。「いいえ」と返答した方々からは、「0, 1, 2歳は行事が一つもないので残念に思っています」「イベントは土日にして欲しい」等の声が寄せられた。 | | | | |
| 6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか | 74 | 11 | 1 | 0 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の86.0%で、家庭と保育所の信頼関係に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「同じ保育士が複数年担当してくれている」「いつも相談に乗ってもらっている」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「職員によって異なる」等との声が寄せられた。 | | | | |
| 7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか | 76 | 10 | 0 | 0 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の88.4%で、保護者の考えを聞く姿勢に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「職員も肯定的な姿勢で話を聞いてくれる」「いつも片付けています」等の声が寄せられた。「大丈夫ですよ」と言ってもらえて嬉しい」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「連絡帳を利用していますが工夫が必要」等との声が寄せられた。 | | | | |
| 8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか | 76 | 10 | 0 | 0 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の88.4%で、清掃・整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「よく掃除をしてかれている姿を見かける」「いつも片付けています」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは「ゴミが落ちていたりすることがあり、気になる」等との声が寄せられた。 | | | | |
| 9. 職員の接遇・態度は適切か | 75 | 9 | 2 | 0 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の87.2%で、職員の接遇・態度に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「とても良いと思う」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「言葉遣いが馴れなれない職員もいる」等との声が寄せられた。 | | | | |
| 10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか | 81 | 3 | 0 | 2 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の94.2%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「少しの怪我や体調の変化もきちんと連絡をしてくれ、対処もしてくれる」「看護師さんかいて、安心」「連絡が早く説明も細かく分かりやすい」等の声が寄せられた。 | | | | |

| | | | | |
|--|----|----|----|----|
| 11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか | 65 | 11 | 2 | 8 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の75.6%で、子ども同士のトラブルへの対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「とてもしっかりと見ていると思う」「親同士が嫌な気持ちにならないようにしてくれている」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「そういう場面に遭遇してはいないので不明」等との声が寄せられた。</p> | | | | |
| 12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか | 81 | 4 | 1 | 0 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の94.2%で、子どもの気持ちの尊重に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「一人ひとりよく見て対応してくれている」「子ども一人ひとりにあわせた対応ができています」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「最近ほ信頼できるようになりました」等の声が寄せられた。</p> | | | | |
| 13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか | 75 | 6 | 1 | 4 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の87.2%で、プライバシーの保護に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「守ってくれていると思う」「おおむね大丈夫だと思う」等の声が寄せられた。</p> | | | | |
| 14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか | 77 | 5 | 3 | 1 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の89.5%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「幼児クラスになってからはあまりその日の説明はありません。仕方ないのかなと思います」「わかりやすいです」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「延長などが多いと担任の先生に会う機会が少なく、子どもの様子を聞くことができないので残念です」等との声が寄せられた。</p> | | | | |
| 15. 利用者の不満や要望は対応されているか | 62 | 12 | 1 | 11 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の72.1%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「特に不満はありませんが」ノートを作ってもらい、思ったことや要望を伝えて、すぐ対応してくれている」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「まだ不満や要望を伝える機会がないため」等の声が寄せられた。非該当を選択された方々からは、「とても信頼しているため」との声が寄せられた。</p> | | | | |
| 16. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか | 26 | 27 | 10 | 23 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の30.2%、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の31.4%、「非該当」と返答した方々は回答者の28.6%であった。「はい」と返答した方々からは、「チラシをきちんと配っていただきました」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「文書があったようにも思います」「困った時はいつでも先生方に相談して解決しているので、そこまで話が及びません」等との声が寄せられた。</p> | | | | |

Ⅰ 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

| No. | 共通評価項目 | | 評価項目 |
|-----|--|--|-----------------------|
| | カテゴリ1 | | |
| 1 | リーダーシップと意思決定 | サブカテゴリ1(1-1) | |
| | 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている | | サブカテゴリ1毎の 標準項目実施状況 |
| | | | 9/9 |
| | 評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している | | |
| | 評価項目2 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深い | | |
| | 評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している | | |
| | 標準項目 | | |
| | 評価 | 標準項目 | 評価 |
| | ○あり ○なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している | ○非該当 |
| | ○あり ○なし | 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている | ○非該当 |
| | ○あり ○なし | 3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている | ○非該当 |
| | ○あり ○なし | 4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) | ○非該当 |
| | 評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている | | |
| | 標準項目 | | |
| | 評価 | 標準項目 | 評価 |
| | ○あり ○なし | 1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている | ○非該当 |
| | ○あり ○なし | 2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している | ○非該当 |
| | 評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している | | |
| | 標準項目 | | |
| | 評価 | 標準項目 | 評価 |
| | ○あり ○なし | 1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている | ○非該当 |
| | ○あり ○なし | 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している | ○非該当 |
| | ○あり ○なし | 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える | ○非該当 |

保育目標・基本理念を「園のしおり」に明示し、入園時に保護者に説明している

保育目標・基本理念は「園のしおり」に明示し、入園時に保護者に説明している。また、保護者会で、保護者1人年間指導計画を配付し説明している。今年度、保育課程を見直すプロジェクトを立ち上げ、職員皆で検討する中、目指す保育について共通認識を持ち、確認し合っている。また、毎年、チャレンジ・プログラムの通して、組織目標と職員個々の仕事目標を運動させることで、園目標への意識づけを図っている。さらに半期ごとにチャレンジ・プログラムの反省・評価を行う中で、保育目標・基本理念について確認し合っている。

園長・主査・向上リーダー2名を園の4本柱と位置づけ、保育の質向上に取り組んでいる

杉並区立保育園では、保育の質の向上を目的に「保育の向上を考えるリーダー会議」を組織化しており、向上リーダー2名および園長・主査が園の保育の向上促進の4本柱と位置づけている。当園の向上リーダーは、5歳クラスの担任と0歳クラス担任を選定している。また、向上リーダーが参集する場を設け、区内各直営園を構造的に情報交換し、互いに刺激をし合い、自園での実践の参考にしている。また、園長会(月2回)や、主査・看護師などの区立保育園の職位職種別の横の連絡会も設け、共通課題について検討している。

「事務分担表」「役割分担表」を作成し、職員個々の役割と責任を明示している

「事務分担表」「役割分担表」を作成し、職員個々の役割と責任を明示している。昼の職員会議(週1回、14時～)や夜の職員会議(月1回、17時～)を中心に園の重要案件を検討、決定している。緊急案件は園長等が対応している。そのほか、乳児打ち合わせ(月1回)、幼児打ち合わせ(月2回)、給食会議、アレルギーマニフェスト会議、クラス打ち合わせ、カリキュラム打ち合わせなどで現場の問題課題について検討している。各クラスのクラスリーダーから非常勤職員に対して情報を伝え、情報共有の徹底に努めている。

| | | | |
|---|--|-------------------|------|
| 2 経営における社会的責任 | | サテカテコリー2 | |
| | | サテカテコリー1(2-1) | |
| 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる | | サテカテコリー毎の標準項目実施状況 | 4/4 |
| 評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ○あり ○なし | 1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している | | ○非該当 |
| ○あり ○なし | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる | | ○非該当 |
| 評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に 対し、透明性の高い組織となっている | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ○あり ○なし | 1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる | | ○非該当 |
| ○あり ○なし | 2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に 関する情報を開示している | | ○非該当 |
| 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている | | サテカテコリー2(2-2) | |
| | | サテカテコリー毎の標準項目実施状況 | 7/7 |
| 評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ○あり ○なし | 1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、 個別相談など) | | ○非該当 |
| ○あり ○なし | 2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師 派遣など)を行っている | | ○非該当 |
| 評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立 している | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ○あり ○なし | 1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している | | ○非該当 |
| ○あり ○なし | 2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など) | | ○非該当 |
| ○あり ○なし | 3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている | | ○非該当 |
| 評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ○あり ○なし | 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している | | ○非該当 |
| ○あり ○なし | 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている | | ○非該当 |

「杉並区立保育園保育実践方針」を職員個々に配布し、確認し合っている
 正担当職員の入職時の研修では「公務員倫理」人権などについて指導教育している。区が区立保育園の目指す保育や保育士としてのあるべき姿を「杉並区立保育園保育実践方針」に明示し、パート・アルバイトも含めた全職員に配布している。昨年度、主査が個別に新入職員に対して実践方針の読み合わせを行なっている。また、入職2年目、3年目の職員に対しても、実践方針を読み合わせ、理解の深化を図っている。また、パート・アルバイト職員に対して「区立保育園で働くにあたって」を作成し、入職時に説明している。

地域の子育て支援事業として「ふれあい保育」「すくすく広場」などを実施している

地域の子育て支援事業として、「ふれあい保育」「すくすく広場」「行事参加」などを実施している。「すくすく広場」は、月1回、0～5歳の子どもを対象として、職員3名を配置し、日程等を門扉前に掲示したり、地域の情報誌に掲載するなどして広報している。「すくすく広場」は身体計測を行ない、園庭や保育室で園児と一緒に遊んだり、看護師や栄養士が育児相談に応じたりもしている。園長が児童館で在宅親子に遊びについて話をしたり、焼き芋を隣接の一般宅に届けるなどして、地域との連携に努めている。

ボランティアの得意分野を探り、活動で活かしてもらっている

「実習生(ボランティア)の受け入れについて」を用意し、円滑な受け入れを行っている。担当者を置き、活動初日に事前説明等を行ない、その際に口頭で守秘義務について説明している。ボランティアセンターからボランティアを受け入れられているため、同センターで誓約書を受けわしている。「ボランティア受け入れアンケート」を使って、ボランティアの得意分野を探り、活動に活かしている。中学生の職業体験の受け入れも行い、園児と鬼ごっこをするなど保育の現場にふれ、青少年の育成に貢献している。

カテゴリー3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1(3-1)

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

8/8

評価項目1
利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(000)

| 標準項目 | |
|--|---|
| 評価 | |
| 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし |
| 2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし |

評価項目2
利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(0000)

| 標準項目 | |
|--|---|
| 評価 | |
| 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし |
| 2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし |
| 3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし |

評価項目3
地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(0000)

| 標準項目 | |
|---|---|
| 評価 | |
| 1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし |
| 2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし |
| 3. 事業所としての今後のあり方への参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし |

カテゴリー3の講評

保護者の意向を丁寧に聴き取り、保護者の理解を得よう努めている

園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示し、保護者に周知している。利用者がサービスに不満があるときは、保健福祉サービス苦情調整委員が申立者と事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る制度である。入園説明会で苦情の受け付け対応について説明している。要望があった時は、保護者の意向を丁寧に聴き取り、対応している。しかし、要望すべてに対応することが難しい場面もあり、要望があったときは、時間をかけて、保護者の理解を得よう努めている。

送り迎え時の会話や連絡帳等から保護者の意向を聴き取り、改善につなげている

送り迎え時の会話や連絡帳等から保護者の意向を聴き取り、改善につなげている。保護者との個人面談や保育参観を活用し、利用者の意向を丁寧に聴き取り、できる限り速やかに対応することを心がけている。利用者調査では「あなたが大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢があると思いますか」では回答者の88.4%が「はい」との返答であった。また、「あなたが不満に思ったことや要望を伝えるとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか」に関しては、「はい」と返答した方々は回答者の72.1%であった。

地域子育てネットワーク連絡会に参加し、地域ニーズに関わる情報を収集している

児童館、小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会や、区内の認可保育園・認証保育所・杉並区立子供園などの保育関係施設の長が集まる杉並区内保育施設地域懇談会に参加し、保育に関する情報を収集している。近々の児童館に出向き、地域の子育て中保護者と話をしたり、区発行の各保育施設冊子等の資料を参考にするなどして、地域ニーズを収集している。杉並区保健福祉計画・園長会・幼保小連携担当者連絡協議会への参加や、新聞記事や書籍等で得た情報も確認しながら日々の保育に役立てている。

カテゴリー4

4 計画の策定と着実な実行

| | | | |
|---------------------|---------------|-----------------------|-------|
| 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる | サブカテゴリー1(4-1) | サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 | 11/11 |
|---------------------|---------------|-----------------------|-------|

評価項目1
取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(○○○)

| 標準項目 | | 評価 | 標準項目 |
|--|--|-------|------|
| 1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | ○ 非該当 | |
| 2. 年度単位の計画を策定している | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | ○ 非該当 | |
| 3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | ○ 非該当 | |

評価項目2
多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(○○○○)

| 標準項目 | | 評価 | 標準項目 |
|--|--|-------|------|
| 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | ○ 非該当 | |
| 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | ○ 非該当 | |
| 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | ○ 非該当 | |
| 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | ○ 非該当 | |

評価項目3
着実な計画の実行に取り組んでいる 評点(○○○○)

| 標準項目 | | 評価 | 標準項目 |
|--|--|-------|------|
| 1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | ○ 非該当 | |
| 2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | ○ 非該当 | |
| 3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | ○ 非該当 | |
| 4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | ○ 非該当 | |

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

| 評価面 | 標準項目 | |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

カテゴリー4の講評

年度初めにチャレンジプランを策定し、その実現に向けて取り組んでいる

区では中長期計画としては、平成27年度から平成31年度(5か年)までの「杉並区保健福祉計画」を策定し、その中で、保育園に関する方向性を示している。また、区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めにチャレンジプラン(組織目標)を策定し、目標を明確化している。さらに目標達成に向け、その実行体制を整え、その実践に向けて取り組んでいる。半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行ない、年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている。

避難訓練計画を作成し、月1回、火災・地震想定の実行を行っている

避難訓練計画を作成し、月1回、火災・地震想定の実行を行っている。併設の児童館と合同での避難訓練も行っている。午睡中・ゾーリング遊び・朝保育中・散歩中などのさまざまな場面を想定し、実施後は反省会を持ち、改善を図っている。また、消防署立会いのもとでの訓練も行い、消防士より訓練の評価、指導も受けている。近くの公会堂主催の避難訓練に5歳児クラスが参加し、地域と連携している。近隣に不審者情報があった場合は、その情報を掲示し、保護者に周知している。警察署と連携しての訓練も昨年度、実施している。

3か月ごとに、園独自の安全チェック表を使って点検している

小さなヒヤリハットをあげて、集計分析し、事故予防につなげている。昨年度から、3か月ごとに、各クラスの担任が園独自の安全チェック表を使って、園舎内の危険箇所について点検している。園長・主査が園庭チェックをしている。毎月、安全チェック表の集計結果をまとめ、職員会議で伝える。事務室内に掲示している。他方、感染予防として、パート職員に対しても、看護師が個別に嘔吐物処理について指導教育している。感染の蔓延防止策として、嘔吐物処理一式を事務室、各クラスに置き、迅速に処理できるようにしている。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

| | |
|--|-------------------|
| サブカテゴリー1(5-1) | |
| 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 |
| 8 | 8 |

評価項目1
事業所にとって必要な人材構成にしている 評点(○○○)

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---------------------------|
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2
職員の質の向上に取り組んでいる 評点(○○○○○)

| 評価 | 標準項目 | |
|---|--|---------------------------|
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリー2(5-2)

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

7/7

評価項目1
職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる 評点(○○○)

| 評価 | 標準項目 | |
|---|--|---------------------------|
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2
職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進、昇格、賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

カテゴリー5の講評

パート職員に対しても、年1回、個別面談をしている

「平成27年度区職員人材育成事業実施計画」などで、目指す人材像を明確化している。「チャレンジプラン」(目標達成チェックシート)を使って、年2回以上の上司との面談を行い、個々の仕事目標や目標や目標への達成度を振り返り、未達成の課題の状況把握や原因究明に努めている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をしている。人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。園児の状況などを考慮し、ミーティングなどで話し合い、職員配置(クラス担任)を決めている。

子ども発達センターや他園に見学に出かけ、気づきを得ている

職員育成は、区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで行なっている。職員個々の参加研修内容・レポート提出の有無について一覧表(研修報告表)を作成し、どの職員も年1回以上研修参加できるようにしている。パート・アルバイト職員に対しても、区主催の研修に派遣している。子ども発達センターや特別支援の保育園に見学に出かけ、保育のスキル向上につなげている。今年度、経験の浅い職員が、1日担任交換を行ない、他クラスのことを知るとい取り組みもしている。

職員参加型の運営に努め、園との一体感の醸成を図っている

保育園長・主査を中心に就業状況を把握し、ローテーションシフト勤務の中で必要な休暇等の取得に努めている。夏季休暇5日は必ず取得している。常勤職員の平均年齢42.5歳、当園での平均在職年数4.3年であり、経験豊富な職員が多い。職員の世代も20歳代12.5%、30歳代20.8%、40歳代37.5%、50歳代29.2%と幅広い世代で構成され、男性保育士も配置されている。職員からの意見を自由に出してもらい、職員参加型の運営に努め、主体的に動ける職員育成を行なっている。

カテゴリー7

7 情報の保護・共有

サブカテゴリー1(7-1)

情報の保護・共有に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

7/7

評価項目1
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点(000)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2
個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している

評点(0000)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 開示請求に対する対応方法を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている | <input type="radio"/> 非該当 |

カテゴリー7の講評

区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の运营管理を行っている
杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の运营管理を行っている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行い、記録類の管理を行っている。圏の紙ベースの情報やメモリーカードは保管は、課の指示のもと鍵のかかる場所で保管している。

区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている
杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている。また情報収集の目的・使用範囲などを明示し、個人情報の漏洩等の事故がないよう、その取り扱いに関して注意を徹底している。そのため、定期的に全職員で保育記録に関する情報管理の方法や危機管理について話し合いを行い、注意喚起を促している。保育記録の閲覧を希望する際は「閲覧等申出書」を提出すれば可能である。「保育記録の保護者閲覧の流れ(手順書)」を作成し、「保育記録閲覧記録簿」も用意し、適切な対応ができるようになっている。

入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している

正規職員に対して、入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している。パート・アルバイト等の非常勤職員に対しては、「区立保育園で働くにあたって」文書を配布し、「仕事をしていく上で知り得たことは、絶対外部へ漏らさないで下さい」との文面を確認している。実習生・体験学習・ボランティアなどの受け入れにあたっては、受入手順書を作成し、活動初日のオリエンテーションで、園長・主査が活動中に知り得た個人情報について活動中・活動後も第三者に漏らさないことを説明している。

サマカテゴリー1(8-1)
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている
・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

改善の成果

利用者の定員増のため、保育課程の見直しを行ない、職員間の方向性を一つにしている

- ・利用者の定員増のため、保育課程の見直しを行なっている。そのことを通して、園が目指している理念・基本方針を職員間で確認し合い、職員間の保育の方向性を一つにしている。
- ・指導計画と職員個々の仕事目標を記載している「チャレンジプラン」を運動させ、より具体的な目標を設定することで、園の保育目標への意識づけを図った。

改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている

改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない

改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

サマカテゴリー2(8-2)
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている
・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている

改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない

改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

他保育園などの見学研修を行い、保育のスキル向上を図っている

- ・他保育園や区立こども発達センターへの見学研修を行い、保育のスキル向上を図ると共に視野の拡大につなげている。
- ・当園のチャレンジプラン(組織目標)に職員個々のスキルアップを掲げ、積極的に研修派遣に取り組んでいる。また、研修受講後は、研修報告書を見直ししたり、職員会議などで報告をし、保育のスキル・知識の共有化を図っている。また、保育現場に取り入れられるなどして、保育の質向上につなげている。
- ・経験の浅い職員に対して、育成担当者を配置し、定期的に悩みを聴き取り、アドバイスをし、安心してスキルを取得・習熟できるように支援している。

サマカテゴリー3(8-3)
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている
・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている

改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない

改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

乳児クラスは小集団で活動し、子どもの情緒の安定につなげている

- ・当園は2歳児と3歳児は2つの部屋に仕切ることができるようになっている。月齢や男女比率等を考慮して2グループに分かれて生活し、子どもたちの成長を見極めてからアコオーディオン扉を開けて広い部屋にし、遊びのコーナーを増やして遊ぶようにしている。可能な限り少人数グループで落ち着いて遊べるようにし、子どもの情緒の安定につなげている。
- ・電子媒体を含む重要文書は、保管庫など施錠出来る場所等で管理し、使用状況も記録し、園長・主査が退勤時に管理状況を確認し、個人情報に関し適切な管理に努めている。

事業所の財政等において向上している

評価項目1
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

コスト削減に取り組むとともに、保育料収納率の向上に取り組んでいる

・給食調理用業務の委託や指定管理制度による保育園の公営化によるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率の向上に取り組んでおり、杉並区立園全体で、指定管理制度を5園に導入し、調理用業務委託についても平成27年度現在で24園で実施している。また保育料の収納率については平成26年度で97.989%（対前年比0.34%増）となっている。

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者の要望や意向を把握し、できることはすばやく解決に取り組んでいる

・送り迎え時の保護者との会話や連絡帳、保育参観を活用し、保護者の要望や意向を把握し、できることはすばやく解決に取り組んでいる。その結果、利用者調査で「子どもの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係がある」と思いますが、回答者の94%が満足と応えており、家庭と保育所との信頼関係に高い満足を得ている。

Ⅰ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

| 共通評価項目 | | サマカテゴリー1 | |
|--------|----------------|---|-------------------|
| No. | 評価項目 | 標準項目 | サマカテゴリー毎の標準項目実施状況 |
| 1 | サービスの情報の提供 | 標準項目1 評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している | 4/4 |
| | 評価 | 標準項目 | 評価点(0000) |
| | ●あり ○なし | 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 4. 利用希望者等の問い合わせや見学の実施が望まれた場合には、個別の状況に応じて対応している | ○非該当 |
| | | サマカテゴリー1の講評 | |
| | | 区ホームページや保育施設ガイド、保育園のしおりなどで情報提供している 区のホームページや区が発行している「保育施設マップ」などの情報誌で情報提供している。ホームページでは、保育園の概要、施設の見取り図、保育目標、対象年齢や定員、主な行事、地域子育て支援内容などの必要な情報を紹介している。また、園庭や保育室、子どもたちの活動の様子を写真で示し、保育園の特色も紹介している。また、「上狹保育園のしおり」を用意している。子育て支援事業「すくすく広場」の案内を外部向けに掲示している。地域教育推進協議会で作成しているカレンダーに、当園の運動会の情報を掲載している。 区立施設であり、行政や関係機関など情報交換し、連携もしている 区立園であり、区に対して欠席児報告、延長保育実施状況報告などの月報をはじめ保育材料費、子育て支援事業報告などを報告している。保健所には感染症が園児の10%以上発生した場合報告し指導を受けることになっている。併設の児童館には子育て中の母親向けの講習会の案内をしている。感染症が発生した場合、区と園庭に知らせている。地域の小学校とは、学校図書館で年4回本を読んでもらっている。地域の認証保育所や園庭のない認可保育園には水遊びの場所を提供し、この夏はプール利用に5～6回来てもらっている。 問い合わせや施設見学には希望に合わせて受け入れ、数組一緒に案内もしている 電話や直接来園しての施設見学等を受けている。園としては、「すくすく広場」を開催している日時を案内しているが、見学希望者の希望日にも合わせている。駅に近く便利な園であり見学希望者は多く、月によって30～40名の時もあるため、数組一緒に案内することもある。施設見学では園の特徴を、園庭は狭いが園児数は区内で一番多く、2歳児や3歳児は2部屋に分かれており少人数保育を心がけているなどの説明をしている。見学者には園独自の施設利用の概要版を配布している。 | |
| 2 | サービスの開始・終了時の対応 | 標準項目2 サマカテゴリー1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている | 6/6 |
| | 評価 | 標準項目 | 評価点(0000) |
| | ●あり ○なし | 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している | ○非該当 |

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている | ○非該当 |

サブカテゴリー2の講評

入園内定者の健康診断および面接を2月と3月の2回に分けて行っている

新入園児の健康診断を2月後半と3月前半の2回に分けて実施している。健康診断日を知らせて、事前記入の書類を受け取りに来てもらうが、都合がつかない場合は当日書いてもらっている。子どもの身体計測、園医による健康診断、健康診査アンケートの回収、保育士による「入園までの生活の状況」や「家庭連絡票」などの聞き取りや確認、看護師による「新入園児健康調査表」の確認、「食事調査」など食事に関する栄養士の確認、園長による保育時間や家庭の事情等に関する面接などを行っている。

3月中旬以降、「上救保育園のしおり」を基に説明会を実施している

入園説明会は3月中旬以降の土曜日10時～11時に実施している。「上救保育園のしおり」を基に説明をしているが、重要事項について、怪我についてなどは園長が話し、医療側の話は看護師から、給食に関することは栄養士が説明をしている。年間行事予定や園児引き渡しカード等の災害時対応関係書類を渡すなどしている。その後、クラスに分かれて、毎日の持ち物や朝の支度の仕方などを各クラスで「ご用意していただく物」の文書と共に具体的に説明している。

初日は親子一緒に過ごしてもらい、1週間程度を目安に慣れ保育をしている

0・1歳児の場合、初日は一緒に過ごしてもらい、保護者に給食を食べさせてもらっている。乳児クラスの場合は給食の試食をもらっている。保護者の抱き方やかわり方、食事の食べさせ方をわかって保育を進めるために必要なことであると考えている。慣れ保育の期間には、保護者の仕事の復帰状況、慣れ保育の進め方の希望、子どもの泣き具合、食事や睡眠の具合などにより個別に進めているが、目安としては1週間程度である。集団保育経験がある幼児の場合は、慣れ保育期間を短くするようにしている。

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 12/12

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集・分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている | ○非該当 |

評価項目2
子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している

評点(○○○○○)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ◎あり ○なし | 1. 計画は、保育課程を踏まえて、兼護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 3. 計画を保護者にわかりやすく説明している | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 5. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している | ○非該当 |

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(○○)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ◎あり ○なし | 1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している | ○非該当 |

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(○○)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ◎あり ○なし | 1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している | ○非該当 |

サブカテゴリ3の講評

前月の子どもの姿などを振り返り次月の計画を作成し、全職員で省察をしている

担任同士でクラスの打ち合わせを行い、前月の指導計画(月案)の反省と子どもの姿を捉えなおし、次月の月案を作成している。各クラスの月案を職員に印刷して配布し、それらに目を通した上で毎月の職員会議にかけられている。月案職員会議は2日間かけて意見交換し省察を行っているが、2名の係を決めて1年間継続して司会や記録を担っていることで、月により話し合いの観点を変えて討議することができる。有意義な話し合いをもつことができている。

保護者会で年間指導計画を配布し、日々の子どもの様子を連絡帳や保育日誌で伝えている

年度初めの各クラスの保護者会で年間指導計画を配布、説明している。計画をみて、保護者からはゾールの時期の水着について質問が出たり、お箸の家庭での取り入れ方について質問が出たりする。5歳児は就学を前にしているため毎月発行しているクラス便りに今月の保育目標と活動内容を掲載して知らせている。保育園の子どもの様子は、乳児組は複写式連絡帳を使用し、幼児組は保育日誌と写真を掲示して知らせている。年2回実施している保護者会や個人面談、連絡帳で寄せられる保護者からの希望や意見を保育の計画に生かすようにしている。

各種の職員会議を開催して子どもの情報を共有している

子どもに関する情報の共有は、各種の職員会議で行っている。定例職員会議は週1回14時から実施し、園長会報告や行事、月案について、クラスからの報告などを行い、乳児打ち合わせ会月1回と幼児打ち合わせ会月2回は保育に関する検討をしている。夜の職員会議は月1回17時から半期反省や年度末反省、事例討議などを行っている。昼ミーティングは翌日の体制やアレルギー食確認など、園日誌(体制表)を基に行っている。園日誌は出勤した時に必ず目を通すこととしており、当番や会議開催の情報を書き込んでおり重要な発信源になっている。

| 評価項目1 手引書等を整備し、専門業務の標準化を図るための取り組みをしている | | 標準項目 | | 評価 | 評点(○○○) |
|---|--------------------------|---|--|--------------------------|---------------------------|
| | | 標準項目 | | 評価 | |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている | | <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている | | <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している | | <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている | | 標準項目 | | 評価 | 評点(○○○) |
| | | 標準項目 | | 評価 | |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改善の時期や見直しの基準が定められている | | <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている | | <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをとど、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる | | <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している | | 標準項目 | | 評価 | 評点(○○○○○) |
| | | 標準項目 | | 評価 | |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている | | <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している | | <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている | | <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している | | <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている | | <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> 非該当 |

区立園共通の「危機管理マニユアル」と園独自の保育対応のマニユアルを整備している
区立園共通の「危機管理マニユアル」を整備しており、そのマニユアルに沿って対応している。園独自に作成しているマニユアルとして、「緊急時対応マニユアル」「排泄物等で汚れた衣類等の対応方法」「夏季シャワー等の準備・片付けについて」「医薬の対応」「事故マニユアル」などがある。マニユアル類はいつでも見ることができるよう置き、朝夕保育や土曜保育・延長保育の部屋やトイレ等の必要とする場所や必要とするノートなどに貼ったり、置いたりして、その都度見て、対応がスムーズにできるようになっている。

園で作成したマニユアルは年度末に反省して必要に応じて見直している

園独自のマニユアルは年度末に反省し、必要があれば見直しをしている。また、職員が異動してきた時などに他の園での取り組みの事例などを意見したり提案したりした場合には、職員間で検討し、実現可能な良いものと判断した場合は積極的に取り入れるようにしている。区共通のマニユアルが改訂された場合には、会議で周知している。緊急時対応マニユアルや事故マニユアルは延長保育のノートに綴り、いつでも見ることができるようになっている。

若手の職員育成のOJTプログラムがあり、園内研修は職員全員で学び合っている

現在2年目の職員のOJTは主査が担当し、2年目職員報告書を提出してもらっている。年3回、学んだこと、保育の振り返り、今後の課題を書いていく。主査も、指導内容記録を付けていく。職員の技術の向上を目的に、園内研修では、保育課程、環境、運動遊びのプロジェクトチームを立ち上げて、職員全員で学んでいる。また、看護師による「エドベンの扱い方」の園内研修を実施し、救急法(心肺蘇生法)も学んでいる。

サービスの実施項目

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

37 / 37

| 1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている | | 標準項目 | 評価 | 評点(〇〇〇〇〇) |
|---------------------------------------|--|--|--|-----------|
| | | 1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 〇 非該当 |
| | | 2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 〇 非該当 |
| | | 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 〇 非該当 |
| | | 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 〇 非該当 |
| | | 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 〇 非該当 |

評価項目1の講評

子どもが遊びたい遊びにじっくり取り組めるように、玩具の設定と空間作りをしている

子どもが自分で遊びたい玩具を選べるように、子どもの手の届く低い棚に並べて置いてある。保育士は子どもたちの反応を見ながら必要な玩具を考えて環境を構成し、玩具を入れ替えるなどしている。子どもが夢中で遊べる空間と玩具の置き方、コーナー取り、くつろげる空間作りを心がけており、広げて遊ぶ電車やレール、積み木などの玩具はスペースを広めに取り、組み立てる玩具やままこと、絵本などは棚や自立などで仕切りコーナーを作るなどして、遊びを邪魔されずじっくり遊べるようにしている。

幼児組で一緒にリズム遊びをしたり散歩に行ったりして交流している

異年齢の交流は意図的に行っており、夕方幼児3クラス集まってリズム遊びをしたり、散歩に行ったりしている。運動会では3・4・5歳で玉入れやリズム遊びなどを一緒に取り組んでいる。狭い園庭のため、砂場に集まって年齢に関係なく一緒に遊んでいることが多く、小さい子が砂山を崩してしまっても、小さい子だから仕様がよいねと許してくれている。散立がカリーの日には幼児組ではカリーパーチナーと決めている。毎回くじ引きで席を決めるので、3歳や4歳が5歳の部屋に行き、異年齢混ざって食事するカリーの日を楽しみにしている。

特別な配慮が必要な子どもも他の子どもと一緒に過ごしている

特別な支援が必要な子どもには個別の指導計画を作成している。個別の日誌も書いている。心理職の専門家が年間5回ほど巡回指導に来園し、助言を受けている。カンフアレンスが屋の時間であれば出られる職員は全員、なるべく多く出席して聞くようにしている。時間的に無理な場合は担任がカンフアレンスを受け、指導計画の作成会議(屋の職員会議)で、報告をしている。担当職員が剛に付き、子どもの様子を見ながら、他の子どもと一緒に過ごせるように配慮している。

2 評価項目2

家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | 評価 |
|--|---|-------|
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している | 〇 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている | 〇 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している | 〇 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている | 〇 非該当 |

評価項目2の講評

朝の受け入れ時には観察を行い、保護者に家庭での子どもの様子を聞き取っている
朝の受け入れ時の7時30分～8時は、乳児と幼児に分かれて過ごしている。乳児は8時以降、各クラスの部屋に移動して保育をしている。幼児は8時以降3歳児のみクラス保育となり4、5歳児は8時30分まで一緒である。朝の受け入れ時、保護者に子どもの家庭での様子を確認し、顔色等の体調を把握する。朝保育の当番は、クラス毎の朝夕タラシに家庭からの情報を記載している。正規職員が保護者対応をしているときは、ベータ職員が子どもを扱うようにしている。当番が担任に引き継ぐ際、ノートの内容を伝えて譲っている。

生活習慣が身に付くように、保護者と協力し合って取り組んでいる

1回目の保護者会で発達過程の特徴を伝える際に生活習慣を身に付けるための園の取り組みについて、説明している。2歳児クラスのトイレ・トイトレーニングは遠船庵などで保護者と相談しながら進めている。子どもたちに対しては、担任がトイレのペーパーの取り方を知らせたり、栄養士はお箸の持ち方を指導したりしている。保護者会やクラス便りでお箸の使い方を紙芝居で見ました」など子どもに指導したことを伝え、給食だよりや保健だよりで「生活リズムを整えてすっきり快便」などのテーマで生活リズムの大切さを伝えていく。

午睡は子どもの状況に応じて時間や長さを配慮している

0歳児の場合は個々に応じて寝かせている。1歳児からは食後に午睡に入り15時頃に起こしている。前日の就寝時間や眠気が強い場合などには早めに寝かせる等している。子どもの状況などをみながら、早めに起こすこともしている。朝早く登園し、夕方の迎えも遅い子どもが多いので、午睡は必要であると感じている。年長組は就学を控えているため、3月頃には布団に寝る時間を少しずつ短くして、中旬以降は寝ないで過ごすようにしている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもの自主性、自覚性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じることができるような視点を取り入れている | ○非該当 |

評価項目3の講評

「考えて行動できる子ども」を目指して、リズム遊びに取り組んでいる

遊び込める子どもを目指して、玩具を充実させたり、保育室のレイアウトを変更したりしながら工夫をしている。園庭が狭いこともあり、散歩によく出かけている。園目標の「考えて行動しよう」とする子どもを目指してリズム遊びを取り入れて、十分体を動かす、心身のコントロールができるよう取り組んでいる。ピアノの音を聞いて自分で判断して動き、体を動かして満足して遊び他の遊びもじっくり遊べる子どもになるようにとの思いで取り組んでいる。

ルールのある遊びや劇ごっこなど、子どもが自ら参加し、意見を出しあって遊んでいる

子どもの興味や発達に合わせて集団遊びに取り組んでいる。保育者は切っ掛けを与えている。年長組はルールがわかるようになるとますます楽しくなり、中当て(ボール遊び)や鬼ごっこ、ハンカチ落とし、フルーツバスケットなどで遊んでいる。子ども同士2組に分かれてリレーなどの競争も楽しんでいる。クラクラお楽しみ会では6歳児は劇ごっこをするが、みんなで意見を出しあって、フレーメンの音楽隊に取り組み、配役も相談してそれぞれ好きな動物になり楽しんでいる。

身近にある自然や生き物などに触れて遊んでいる

園庭は狭いが砂場には開園以来の藤棚があり、毎年きれいな花を咲かせてくれる。花には蝶やテントウムシなど様々な昆虫が集まってくる。みかんの木にはアゲハ蝶が毎年卵を産み付けるので、子どもたちと幼虫の成長やさなぎ、羽化を見たりしている。野菜の栽培では土づくり、苗の植え付けから、水やりなども行い、葉が大きく伸びたり花が咲き実をつける変化も収穫の喜びも味わっている。カブトムシの幼虫やザリガニなどを飼育し、園庭や散歩先で見つけた蟻やダンゴ虫、テントウムシ、モンシロチョウ、バッタなど身近にいる生き物に触れて遊んでいる。

4 評価項目4
行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---|--|---------------------------|
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目4の講評

「夏まつり」や「新年子ども会」など季節ならではの行事を楽しんでいる
子どもたちの行事は楽しんで、成長が促されるものであり、保護者参加行事は子どもの成長を見てもらい、共に喜び合える機会と考えている。夏まつりは7月の平日16時30分～18時30分で実施し、3・4・5歳児と保護者の参加行事である。年長組の手作りのおみこしが地域を回り、人形劇やヨーヨー釣り、制作コーナー等で遊んだ後、皆で盆踊りをして親子で楽しんでいる。焼き芋会は年長組が芋を包み、煙が出ないように木炭で焼いている。その他、新年子ども会では、たくさん練習して上手に回せるようになったコアの技を披露している。

行事への保護者の理解を得るために、子どもの安全を第一に考えて説明し了解を得ている

園児数を20名増員したことにより、園庭が狭いこともあり、これまで2歳児も参加していた夏祭りを3歳児以上参加に変更した。これまでも楽しんでくれていた保護者には、行事の変更について保護者会で説明したり、おたよりを出すなどして、施設の条件から子どもや参加者の安全を確保するためには3歳児以上の参加に変更せざるを得ないと判断したことを伝え、了解してもらっている。これまで参加を呼びかけていた卒園児にも電話やお手紙で参加してもらえないことを伝えている。

園の運動会は地域の人へ参加を呼びかけ、児童館や小学校へは園児が交流で出かけている

運動会は近隣の元小学校校庭で行っているので、卒園児や地域の方にも参加を呼び掛けている。併設の児童館とは機会あることに交流しているが、トックセラピーでは年長組が参加し4頭の犬に触らせてもらい、お茶会では抹茶を飲む体験をしている。小学校とは給食体験や図書館で本を読んでもらったりしている。地域のボランティアの男性2人によるリレー読み隊1からの絵本の読み聞かせもしている。

5 評価項目5
保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---|--|---------------------------|
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目5の講評

いつも決まったパート職員と横になったりできる布団を用意し、ゆったりと過ごしている

夕保育は18時30分までクラスで保育をしている。いつも決まった夕保育パート職員が入り、慣れた自分のクラスでゆったりと過ごしている。横になったりもできるように、遊び用の布団を出している。保育室内が遊戯のコーナーごと仕切られているので、絵本コーナーで絵本を一人で見ることもできるようにしている。18時30分以降には乳児は1歳児室で合同保育にしており、幼児は5歳児室でカードゲームをしたり、ままごとコーナーで遊んだりして保護者の迎えまでゆったりと過ごせるようにしている。

保育者が仲立ちになりながら年齢の違う子どもとも一緒に遊べるようにしている

乳児組と幼児組で別れたの合同保育である。それぞれ部屋についても変わらないパート職員がいることで安心して遊ぶことができている。積み木を数種類用意したり、好きな汽車遊びを揃えたりしている。乳児は職員の側に寄り添ったりして数人一緒に絵本を見たり読んでもらったりもしている。幼児はいつものメンバールで見知っているのので、保育者が仲立ちになりながら、年齢の違う子どもとも一緒にゲームをしたりして遊んでいる。

お迎え時には連絡事項と共に子どもの様子を伝えている

当番は連絡事項の他に、遊んでいる時の子どもの様子も伝えている。朝夕連絡簿の、保育園から保護者に伝えることの欄に担任が記入して、当番に引き継いでいる。保護者以外でソウターさんが迎え等の場合は、伝達事項を紙に書いて保護者にお知らせしている。日中の保育で起きたトラブルや怪我などは担任が残っていて直接伝えるようにしている。連絡帳は乳児組が使用しており、幼児組は、日中の保育の様子を掲示して読んでもらっている。掲示が済んだ日誌もクラス毎に綴じて玄関に置いておき、いつでも見ることができるようになっている。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(○○○○○)

| 評価 | 標準項目 | |
|-----------|---|-------|
| ● あり ○ なし | 1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作り配慮している | ○ 非該当 |
| ● あり ○ なし | 2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている | ○ 非該当 |
| ● あり ○ なし | 3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している | ○ 非該当 |
| ● あり ○ なし | 4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている | ○ 非該当 |
| ● あり ○ なし | 5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている | ○ 非該当 |

評価項目6の講評

園庭の藤の花が咲いた時には飾ったり、お楽しみ食事をしたりしている

乳児クラスは食事もグループに分かれてゆったりと席につき、グループ毎で食べている。幼児クラスも決まった席で、おやつも同じ顔ぶれで食べている。給食献立は区立園共通で、2週間のサイクルメニューであり、伝統行事の七夕やひな祭りの時などには行事食で食事をしている。藤の花が咲いている時などはテーブルに花を飾ったりしている。また、お楽しみ食卓として、くりぬいた人参を給食に忍ばせる「しあわせにんじん」の取り組みやカレーの日にはカレーパーティーをしている。

「食物アレルギー」の対応マニュアルに沿って対応し、誤食を防いでいる

食物アレルギーについては、「食物アレルギー対応マニュアル」に沿って対応している。前日のミーティングで確認し、厨房に受け取りに行つた際に声掛けし、クラスでも確認リストのままで配膳して誤食を防止している。現在、卵、乳製品、くるみ、魚卵について除去食・代替食を提供している。0歳児の離乳食は中期食でおかゆの子どもであっても、子どもの咀嚼や飲み込みの状況を見て、パンをコロコロパンにするなど、その子どもに応じた出し方を工夫している。

野菜の栽培や食育活動をし、収穫した野菜を給食で食べている

ソウターや発泡スチロールなどを利用して夏野菜や稲などを栽培している。今年ばかりゆり54本、ピーマン43個、トマト71個などたくさん収穫し給食でも食用し、年長組は自宅にも持って帰ったりしている。菜園士は毎日子どもとの喫食状況を確認し、給食献立の2回目の時には子どもたちに食材確認をしている。食材の赤・黄・緑の働きについて紙芝居で教えた上で、「今日のカレーの中に入っている緑の物は何かですか?」などと問いかけ、食事への関心を高め、バランス良く食べて、マナーも身につけるように食育に取り組んでいる。

7 評価項目7
子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている

評点(○○○)

| 標準項目 | |
|--|---|
| 評価 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づき支援を行っている |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている |

評価項目7の講評

自分の身体のことや健康習慣の必要性を分かりやすく子どもに伝えている

「子どもが身体の仕組みを知り、人とかかわる力をつける」を目標にして、保育士と保育中の時間を調整しながら子どもたちに身体の話をしていく。手の洗い方やうがい、歯磨きの仕方などの健康習慣や目の話と視力測定、鼻のかみ方、おしっこ・うんこの話などであるが、これらは眼科健診や耳鼻科健診、歯科健診の時期などに合わせてながら、クラス状況にも合わせて、子どもにわかるように紙芝居や教材などを利用して行っている。

慢性疾患などの園での対応が必要な場合にのみ、薬を預かり与薬している

保育園では薬を飲ませる等の対応はしていないが、慢性疾患で園での対応が必要である場合にのみ、医者の指示書、与薬申し込み書を出してもらい薬を預かっている。現在、熱性けいれんの処方薬、アトピー性皮膚炎等の塗り薬を預かっている。塗り薬については、薬を渡した時に与薬確認表に記載している。子どもの健康に関することは週1回0歳児の健診に来園している園医に、相談したり指示を仰いだりすることもできている。

乳幼児突然死症候群(SIDS)は春の保護者会で、園の対策を説明している

感染症が発生した場合、「～歳児クラスで水疱瘡が発生しました。」というお知らせを各クラス廊下に掲示して、注意喚起している。インフルエンザや感染性胃腸炎などの流行期には、保健日より予防のための手洗い、うがいを家庭にも呼びかけ、園でも手指の消毒液を用意している。保健所等からのポスターも掲示している。乳幼児突然死症候群(SIDS)は春の保護者会で注意喚起し、その対策も説明している。園では0歳児は5分おきに、1歳児は10分おきに顔色、顔の向き、姿勢、呼吸などを個別にチェックし、午睡チェック表に記入している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(○○○○○)

| 標準項目 | |
|--|---|
| 評価 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている |

評価項目8の講評

保護者の就労状況や家庭の事情を理解し柔軟に対応している

保育時間は勤務時間と通勤時間、職場環境などの事情も良く聞いて、決めていく。年長組では就学に向けて、整通いをする場合などもあり、お迎えをどうするかなど相談を受けることもある。妊娠中でお迎えができなくなってしまう場合は相談も受けたりする。残業などでお迎えの時間が遅くなる場合でも受け入れられている。仕事が大忙し、余裕がなくなってしまう保護者にはその状況を理解して、「お疲れ様です」と声を掛けるようにしている。

保護者会と保護者参加行事が交流する機会であり、保護者が話し易いように配慮している

年2回の保護者会と年2回の保護者参加行事が保護者同士が話せる機会になっている。運動会は小学校校地のグラウンドを使用しているが、お弁当持参してもらい、クラス同士一緒に食べるようにしている。和気あいあいの雰囲気になるように担任が取り計らっている。クラス便りを月1回以上発行し、保育園での子ども様子を伝え、保育日誌を掲示し、写真を活用して情報提供して保護者と情報を共有するようにしている。保護者会では、グループワークなどに分かれて話せるようにする等、保護者同士で話がしやすいように配慮している。

個人面談、保育参観は子どもに関する情報を共有し、意見を貰う機会にしている

「個人面談、保育参観、保育園体験はいつでもお申し出ください。」と呼びかけ、個人面談時に保育参観や保育体験の誘いもしている。全世帯の約半数程度が参観している。感想には「わが子が保育園の中でどんなふうに通っているか気になっていましたが、安心しました」などの声が寄せられている。運動会と保育参観には、感想用紙を渡している。それらの感想や意見を参考にしている。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ◎あり ○なし | 1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている | ○非該当 |

評価項目9の講評

地域向け活動として「すくすく広場」を年10回開催している

地域向け活動として「すくすく広場」を開催しており、年間10回、4月8月を除き毎月第3水曜日10時～11時で実施している。対象は0～5歳児である。一緒におもちゃで遊んだり身体測定をしたりして、保育士や看護師、栄養士が各分野で子育て相談に応じるようにしている。参加者は5月6組、6月7組、7月18組、8月18組であり、参加者は入園希望者がほとんどであるため、園の施設見学もしてもらっている。保護者が園の施設見学をしている間は職員が子どもを見ている。区立園として緊急一時保育、ふれあい保育も実施している。

「すくすく広場」では入園希望者からの園生活に関する質問が多く出されている

「すくすく広場」参加者は、保育園入園の希望者がほとんどのため、施設見学が目的になっており、今のところピーターはいない。参加者からは質問として「菓の取り扱い」「離乳食」「散歩」等の保育園での生活や活動に関する様々な質問が出され、目的を同じにしている母親たちも参考になっている様子である。児童館の子育て支援事業に講師として、0歳児の赤ちゃんを育てている親子を対象に「保育園での生活」大人との信頼関係を作ることの大切さ」について話をしている。

「すくすく広場」の取り組みの見直しを考えている

「すくすく広場」の担当者を決めて行っており、実施日には利用者名簿を作成したり、質問があったことを記録する等している。年度末の反省で、取り組みについて振り返りを行っている。入園希望者のみで、繰り返し遊びに来る人はいない状況であるため、今後は遊びに来てもらいやすい広場にしていき、子育て相談を受けられる機会として定着させたいと考えており、地域のスモールカレンダーにも掲載し呼び掛けている。

| | |
|--------------------|---|
| 事業者が特に力を入れている取り組み① | |
| 評価項目 | さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している |
| タイトル① | 保育課程の見直しや事例検討等の職場の課題について学び合う園内研修を実施している |
| 内容① | 園内研修では3つのPT(プロジェクト・チーム)を作っている。保育課程PT、環境PT、運動遊びPTであり、PTが取り組みの方向性などを検討し、月1回の夜の職員会議でハウルーナに分かれて検討する方式にしており、保育課程は年2回の予定で環境と人間関係について検討している。その他、事例討議も年2回行い、グループカフェ方式で活発な意見交換をしている。また、時間をみつけ、向上リーダーが中心となって「保育を語るうい」を行い、散歩について、クラス運営についてなどを気軽に話し合ったことで、散歩グッズの更新につながっている。 |

| | |
|--------------------|---|
| 事業者が特に力を入れている取り組み② | |
| 評価項目 | 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる |
| タイトル② | ヒヤリハットを全職員で共有化し、危機意識の向上を図っている |
| 内容② | 職員からの提案で「ヒヤリハットシート」を作り、全職員でヒヤリハットを共有化し、危機意識の向上を図っている。「ヒヤリハットシート」は、タイムカードを押す場所や体制表に貼り、出勤時に必ず職員が「ヒヤリハットシート」を見て確認するようにしている。パート職員にも周知している。毎月、数件のヒヤリハットが出ており、職員の気づきが高まっている。また、ケガ・転倒・すりむきなどは一覧表にし、これもミーティングなどで情報共有している。その結果、子どもの怪我は昨年度より減少している。 |

| | |
|--------------------|--|
| 事業者が特に力を入れている取り組み③ | |
| 評価項目 | 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している |
| タイトル③ | 指導計画の省察を2日間で行い、職員間で他のクラスの保育も共有化している |
| 内容③ | 毎月風の会議で指導計画の反省を2日間かけて行い、前月の子どもの姿を捉えなおして、次月の指導計画を作成するようになっている。各クラスの指導計画を職員全員に配布して目を通して反省会に参加している。この会議では1年間継続する係として司会と記録を決めている。そうすることで、クラスからの報告を聞き取るだけの会ではなく、ねらいと保育を振り返る省察を行い、「おもちゃ」心地よい環境などの観点を絞った話し合いをすることができ、保育内容や子どもに関する情報の共有に役立つ空議になっている。 |

| No. | 特に良いと思う点 |
|-----|--|
| 1 | 子どもたちが安定して過ごせるように、乳児では少人数グループ保育をしている |
| 1 | <p>乳児クラスは小集団で活動し、一人ひとりに目を向けて受け止め、大人との信頼関係を作り安定して過ごせるようにしている。当園は2歳児と3歳児は2つの部屋に仕切ることができるようになっており、子どもたちの月齢等を考慮して2グループに分かれて生活し、子どもたちの成長を見極めてからアコーディオン扉を開けて広い部屋にし、遊びのコーナーを増やして遊ぶようにしている。クラスやホール、多目的室等を遊び場として有効利用し、可能な限り少人数グループで落ち着いて遊べるようにしている。</p> |
| 2 | <p>食育の取り組み年間計画を作成して、食の大切さや有難さ、楽しさを伝える取り組みをしている</p> |
| 2 | <p>食育の取り組み年間計画を作成して、年齢に合った食育の取り組みのねらいと内容を決めている。そして、栄養士だけでなく、保育の中の食育として栄養士と担任が連携して進めている。4・5歳児は豆類のさやむき等の食材に触れる取り組みやおにぎり作りをしたり、さんまの塩焼きを箸で食べたりしている。当園では、2のつく日、2日12日22日には幼児クラスに1人ずつ、型抜きの人参(しあわせ人参)が入るようになって、しあわせ人参が入っていた子どもにははんにんさんさんから手紙が届くこととして、子どもたちはサライズをとても楽しみにしている。</p> |
| 3 | <p>保護者と子育ての共有をするために、具体的な子どもの様子を伝える保育日誌を掲示している</p> |
| 3 | <p>園の基本理念に「保護者と信頼関係を作り、子育ての共有をしていきます」と掲げて、保護者と保育園情報を共有するために、乳児組は連絡帳を使用し、幼児組は保育日誌と活動の写真を掲示している。掲示の保育日誌には、クラスの取り組みや子ども様子を具体的に書き、読んでもらいたい箇所アイコンダラインを引いたり、吹き出しのコメントやイラストを入れ、子どもの会話やトラブル場面などの問題提起も載せており、保護者には興味をもって読んでもらえている。読んでいない日の日誌を読みたい人のために、フレイブルして玄関に置いてある。</p> |
| No. | さらなる改善が望まれる点 |
| | 保護者との共育での推進のために月案や週案などの保育計画の開示について検討を期待する |
| | <p>保護者と子育ての共有をするために、第1回の保護者会で年間指導計画を配布して、1年間大切にしていきたいことを担任が説明している。園での子ども様子は連絡帳や掲示している保育日誌や写真、クラスだよりなどで伝えていく。保護者との共育をすすめていくためには保育情報(日誌や計画など)の開示が重要であることは区の保育実践方針にも示されており、より良い園の保育を目指して、月案や週案などの保育計画の開示についての検討を期待したい。</p> |
| 1 | <p>今以上に地域に役立つ園になるために、園独自の子育て支援の取り組みの再構築を期待する</p> |
| 2 | <p>地域向け活動として「すくすく広場」を開催して、年間10回、4月8月を除き毎月第3水曜日10時～11時で実施している。しかし、参加者は保育園入園希望者がほとんどであり、施設見学が目的で自由に遊びに来ている親子ではないためにリピーターもいない状況である。今以上に地域に役立つ園になるために、園の環境や専門のノウハウを生かせる支援事業を検討したり、地域のニーズを把握するなどして、園独自の子育て支援の取り組みの再構築を期待する。</p> |
| 3 | <p>小学校との円滑な接続も視野に入れ、保育内容のより一層の向上のために保育課程の更新を期待したい</p> |
| 3 | <p>保育課程には保育目標を示し、保育所保育指針の年齢区分に沿って養護と教育の5領域と食育、散歩の項目について、子どもの発達過程に即した保育内容を示している。しかし、園として力を入れて取り組んでいる保護者との連携などが盛り込まれていない状況である。今後は、求められている小学校との円滑な接続も視野に入れ、保育内容のより一層の向上のために保育課程の更新を期待したい。</p> |

2. 和泉保育園

和泉保育園



調査対象

利用児71名の保護者65世帯。調査票の記入者：調査票の記入者：「父」16名、「母」40名、「父母一緒に」1名、無記入名。調査票記入者の年齢：「25～30歳未満」13名、「30～40歳未満」126名、「40～50歳未満」16名、「50歳以上」12名、無記入3名。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内に設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接当評価機関へ直接投函していただいた。

利用者総数

| | |
|--------------------|------|
| 利用者総数 | 65 |
| 共通評価項目による調査対象者数 | 65 |
| 共通評価項目による調査の有効回答者数 | 50 |
| 利用者総数に対する回答者割合(%) | 76.9 |

利用者調査全体のコメント

総合的な感想は、「大変満足」28名(56.0%)、「満足」21名(42.0%)、無記入1名(2.0%)であった。「大変満足」および「満足」と返答された方々は、回答者の98.0%であり、サービズに対して高い満足を得ている。
 ・回答者の80%の方々が満足と答え、満足度が高い設問は、問1「食事の工夫」、問2「戸外遊びの工夫」、問4「安全対策」、問6「家庭と保育所の信頼関係」、問7「職員の関心姿勢」、問8「清潔保持・整理整頓」、問9「職員の接遇・マナー」、問10「緊急時の対応」、問11「子ども同士トラブルに対する対応」、問12「子どもの気持ちへの配慮」、問13「トラブルシューの保護」、問14「保育内容の説明」であった。
 ・自由記述では、「子どもの個性を尊重してくれて、毎日を通して高くていい満足を得ているのが良く分かります」「子どもの気持ちに寄り添い、時に優しく、時にルールを教えるために諭す姿勢、とても信頼を寄せています」「先生一人ひとりのスキルがとても高いと認識しています」などの声が寄せられました。

利用者調査結果

| 共通評価項目 | 実数 | | | |
|---|----|---------------|-----|------------|
| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無回答 非該当 |
| 1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか | 46 | 1 | 2 | 1 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の92.0%で、提供されている食事に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「野菜を自分たちで作り、食べるのが楽しかったと思う」「出汁をとったり、栄養面のバランスも取れています」等の声が寄せられました。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「量が少なそう」との意見が寄せられました。 | | | | |
| 2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか | 42 | 6 | 1 | 1 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の84.0%で、自然や社会との関わりに関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「園庭が広い」「園庭があって安心です」等の声が寄せられました。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「ノートを机で積極的に運べたしてくれているのが分かる」「外遊びの機会は十分ですが、あまり内容については詳しく聞いたことがないです」との意見が寄せられました。 | | | | |
| 3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか | 37 | 7 | 1 | 5 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の74.0%で、保育時間の柔軟な対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「いつも柔軟に対応していただき感謝しています」等の声が寄せられました。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「急な残業がないので分からない」「担当者による対応の良い悪いは感じる」等の声が寄せられました。「いいえ」と返答した方々からは、「かなり厳しい感じで質問されます。どこにおいて何時くらいに迎えに行けるかなど」との声が寄せられました。 | | | | |

| | | | | |
|---|----|---|---|---|
| 4. 安全対策が十分取られていると思うか | 40 | 6 | 3 | 1 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の80.0%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「具体的に何が分からないが、取られていると思う」「充分過ぎるということはないので」等の声が寄せられた。「いいえ」と返答した方々からは、「門が誰でも入れる時間が怖い」「部屋が狭いのもありそうだが、テーブルや棚が窮屈に並んでいるので子どもがよくぶついている」等の声が寄せられた。 | | | | |
| 5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か | 39 | 8 | 2 | 1 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の78.0%で、保護者に配慮した行事日程の設定に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「早めに日程を出してくれるので調整しやすい」「仕方ない範囲かと」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「保護者会を含め、平日休みを取るのにはなかなか難しいから」「もう少し早めにお知らせしてくれると助かります」等の声が寄せられた。「いいえ」と返答した方々からは、「夏祭りや平日なので参加が難しい」等の声が寄せられた。 | | | | |
| 6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか | 47 | 1 | 1 | 1 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の94.0%で、家庭と保育所の信頼関係に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「どんな小さな悩みでも、真剣に相談に乗ってくれるので心強いです」「担任による」等の声が寄せられた。 | | | | |
| 7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか | 41 | 8 | 0 | 1 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の82.0%で、保護者の考えを聞く姿勢に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「とてもある」「受け止めの言葉で安心する」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「そこまでの余裕を持つた方はかなり少ない」「なかなか話をする時間がないのが現状ですが、先生はとってもしっかり聞いてくれます」等の声が寄せられた。 | | | | |
| 8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか | 46 | 1 | 0 | 3 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の92.0%で、清掃と整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「施設自体の古さはどうしようもないが」等との声が寄せられた。 | | | | |
| 9. 職員の接遇・態度は適切か | 40 | 8 | 0 | 2 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の80.0%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「いつも笑顔で対応してくださるので安心感があります」「時々あいさつが返ってこないこともありますが、おおむね良好」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「言葉遣いや態度が難者の方がある。全員ではないが」等との声が寄せられた。 | | | | |
| 10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか | 45 | 3 | 0 | 2 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の90.0%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「やはり保身を考えているような点は感じるが、問題ないレベル」「まだないので判断しかねる」等の声が寄せられた。 | | | | |

| | | | | |
|---|----|----|---|----|
| 11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか | 41 | 5 | 1 | 3 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の82.0%で、子ども同士のトラブルへの対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「細かな状況報告、この年頃の子どもの行動に対する経験から信頼できる」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「またないので判断しかねる」等との声が寄せられた。</p> | | | | |
| 12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか | 45 | 3 | 0 | 2 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の90.0%で、子どもの気持ちの尊重に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「担任による」ダメではなく、こうして欲しいと伝えてくれると思う」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「担任の先生はそう思う」との声が寄せられた。</p> | | | | |
| 13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか | 41 | 6 | 0 | 3 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の82.0%で、プライバシーの保護に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「担任による」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「判断しかねる」との声が寄せられた。</p> | | | | |
| 14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか | 44 | 3 | 1 | 2 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の88.0%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「担任による」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「担任の先生以外は主に連絡事項等の共有ができていないように感じる」等との声が寄せられた。「いいえ」と返答した方々からは、「連絡帳の字が汚くて読めない先生がいる」との声が寄せられた。</p> | | | | |
| 15. 利用者の不満や要望は対応されているか | 39 | 5 | 0 | 6 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の78.0%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「園や自己の保身を念頭においた回答を受けたことがある」等の声が寄せられた。「非該当」と返答した方々からは、「特に不満なし」との声が寄せられた。</p> | | | | |
| 16. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか | 20 | 12 | 6 | 12 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の40.0%、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の24.0%、「非該当」と返答した方々は回答者の20.0%であった。「非該当」と返答した方々からは、「知らなかつた（困ったことがない）」等との声が寄せられた。</p> | | | | |

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

| No. | 共通評価項目 | | 標準項目 | 評価 | 標準項目 | 評価 | 標準項目 | 評価 | 標準項目 | 評価 | 標準項目 | 評価 | | | | | | |
|-----|--------------|-------|--------------|-----------------------------|-------------------|-----|--|--|------|--|---------------|--|---------|---|---------|--|---------|--|
| 1 | リーダーシップと意思決定 | カテゴリ1 | サブカテゴリ1(1-1) | 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている | サブカテゴリ1毎の標準項目実施状況 | 9/9 | 評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している | 評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している | 9/9 | 標準項目 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している | 評価 ○あり ○なし | 標準項目 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている | ○あり ○なし | 標準項目 3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている | ○あり ○なし | 標準項目 4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) | ○あり ○なし | |
| | | | | | | | 評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている | 評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている | | 標準項目 1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている | ○あり ○なし | 標準項目 2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している | ○あり ○なし | | | | | |
| | | | | | | | 評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している | 評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している | | 標準項目 1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている | ○あり ○なし | 標準項目 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している | ○あり ○なし | 標準項目 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える | ○あり ○なし | | | |

職員皆で考えだしたスローガンを事務室に掲示し、職員への意識づけを図っている
 保育理念・保育方針・保育目標を玄関に掲示し、保護者・職員・関係者等に周知している。春の保護者会で、保育理念・保育方針・保育目標を記載した重要事項を保護者と読みあわせをしたり、各クラスの年間指導計画を保護者に説明し、配布している。今年度から、各クラスの月案も掲示している。また、保育目標や、職員皆で考えだしたスローガン【わ（職員が一丸となってチャレンジする輪、安心・安全・平和を追求する和、話し合い・コミュニケーションを深める話）】を事務室に掲示し、職員への意識づけを図っている。

子どもにも、保護者にも、職員同士にも、誠実に向き合っというこうと職員へ伝えている

子どもたちが自分を好きになつて、そのままの自分を出せて、たくましさや力強さが育つていけるような保育を行なっていきたいと園長は考えている。また、園長は、職員に対して、子どもにも、保護者にも、職員同士にも誠実に向き合っということを伝えている。また、杉並区は、園長・主査・向上リーダー2名が保育の向上促進の4本柱と位置づけ、4本柱を中心に保育の質向上を図っている。園長会(月2回)や、主査・看護師などの区立保育園の職位職種別の横の連絡会も設け、共通課題について検討している。

職員会議を最高決裁の場とし、決定事項を職員間で共有している

園内の重要案件について検討する打ち合わせの場を畫面で明示している。昼の定例打ち合わせ(週1回)、夜の職員会議(月1回)を最高決裁の場として、参加できなかつた職員は記録を閲覧することで、園運営の決定事項について共有化している。毎日、園ミーティングを実施し、子どもに関する情報を共有している。そのほか、給食担当会議、係担当会議、行事プロジェクト、保育検討会議(リーダー会議、幼児打ち合わせ、乳児打ち合わせ、クラス打ち合わせ、保育課程打ち合わせなどの打ち合わせの場を設け、現場の問題課題について検討している。

カテゴリー2

2 経営における社会的責任

| | | | |
|---------------|--|-----------------------|-----|
| サブカテゴリー1(2-1) | | サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 | 4/4 |
|---------------|--|-----------------------|-----|

| | | | |
|--|----|------|--------|
| 評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している | 評価 | 標準項目 | 評点(〇〇) |
|--|----|------|--------|

| | | | |
|-----------|------|--|-------|
| 評価 | 標準項目 | 1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している | ○ 非該当 |
| ○ あり ○ なし | | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる | ○ 非該当 |

| | | | |
|---|----|------|--------|
| 評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に 対し、透明性の高い組織となっている | 評価 | 標準項目 | 評点(〇〇) |
|---|----|------|--------|

| | | | |
|-----------|------|---|-------|
| 評価 | 標準項目 | 1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる | ○ 非該当 |
| ○ あり ○ なし | | 2. 透明性を高めるために、地域の人々の目になれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に 関する情報を開示している | ○ 非該当 |

| | | | |
|--------------------|---------------|-----------------------|-----|
| 地域福祉に役立つ取り組みを行っている | サブカテゴリー2(2-2) | サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 | 7/7 |
|--------------------|---------------|-----------------------|-----|

| | | | |
|------------------------------------|----|------|--------|
| 評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある | 評価 | 標準項目 | 評点(〇〇) |
|------------------------------------|----|------|--------|

| | | | |
|-----------|------|--|-------|
| 評価 | 標準項目 | 1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、 個別相談など) | ○ 非該当 |
| ○ あり ○ なし | | 2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師 派遣など)を行っている | ○ 非該当 |

| | | | |
|--|----|------|---------|
| 評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立 している | 評価 | 標準項目 | 評点(〇〇〇) |
|--|----|------|---------|

| | | | |
|-----------|------|---|-------|
| 評価 | 標準項目 | 1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している | ○ 非該当 |
| ○ あり ○ なし | | 2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など) | ○ 非該当 |
| ○ あり ○ なし | | 3. ボランティアを利用者のフライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている | ○ 非該当 |

| | | | |
|-----------------------------|----|------|--------|
| 評価項目3 地域との関係機関との連携を図っている | 評価 | 標準項目 | 評点(〇〇) |
|-----------------------------|----|------|--------|

| | | | |
|-----------|------|---|-------|
| 評価 | 標準項目 | 1. 地域との関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している | ○ 非該当 |
| ○ あり ○ なし | | 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている | ○ 非該当 |

杉並区例規集、通達文書、訓令の改正などを職員に伝え、周知している

正規職員の入職時の研修では「公務員倫理」「人権」などについて指導教育している。区が区立保育園の目指す保育やそこで働く保育士としてのあるべき姿を「杉並区立保育園保育実践方針」に明示し、パート・アルバイトも含めた全職員に配布している。杉並区例規集（区政の執行に必要な区の条例、規則、規程など）、通達文書、訓令の改正などについて職員に周知し、また、いつでも閲覧できるようにしており、意識づけを図っている。また、各種会議やミーティングなどの場で、守るべき法・倫理・人権などについて話し合い、振り返り、確認し合っている。

区立直営園として、近くの小規模保育施設への応援園として取り組んでいる

地域の在宅親子を支援する事業として、「園庭開放」ふれあい保育「行事参加」などがある。散歩に出かけた際に出会う親子連れにチラシを渡し、「(園に)遊びに来てね」と声かけしている。また、区立直営園として、近くの小規模保育施設への応援園となり、行事への参加を働きかけている。地域の保育園との交流も行っている。また、近くの小規模保育室に運動会や焼き芋会、「おもちゃで遊ぶ会」への参加を働きかけている。また、児童館と小学校へ、保育士などが出向き、子育てについての話をし、園の持つ専門性を地域に還元している。

中高生の職場体験を積極的に受け入れ、青少年育成に貢献している

「ボランティアの心得」を用意し、ボランティア担当者も決め、各クラス担任と連携し、円滑な受け入れに努めている。定例の打ち合わせ会、講などでも、ボランティアの受け入れについて話し合い、職場全体でボランティアの受け入れ体制を整えている。ボランティアの活動初日は、担当者が奮闘に沿って保育のなかで大切にしていることなどについて説明している。中高生の職場体験を積極的に受け入れ、青少年育成に貢献している。

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1(3-1)

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

8 / 8

評価項目1
利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(○○)

| 評価 | | 標準項目 | |
|----|---------|--|-------|
| ● | あり ○ なし | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている | ○ 非該当 |
| ● | あり ○ なし | 2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる | ○ 非該当 |

評価項目2
利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(○○○)

| 評価 | | 標準項目 | |
|----|---------|--|-------|
| ● | あり ○ なし | 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる | ○ 非該当 |
| ● | あり ○ なし | 2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している | ○ 非該当 |
| ● | あり ○ なし | 3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる | ○ 非該当 |

評価項目3
地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(○○○)

| 評価 | | 標準項目 | |
|----|---------|--|-------|
| ● | あり ○ なし | 1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる | ○ 非該当 |
| ● | あり ○ なし | 2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる | ○ 非該当 |
| ● | あり ○ なし | 3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している | ○ 非該当 |

カテゴリー3の講評

「重要事項」に苦情・要望等の相談窓口について明示し、保護者に説明している

園内に「保健福祉サービス苦情調整委員会制度」についてのポスターを掲示し、保護者に周知している。「重要事項」に苦情・要望等の相談窓口について明示し、保護者に説明している。春の保護者会では、保護者に対して「園長・主査・クラス担任に何でも言ったださい」と伝えている。保護者からの意見に対して、職員皆で内容を検討し、改善に向けて対応している。保護者が困った事があつた時には直接クラス担任に、または、園長・主査が相談に応じ、誠意をもって対応するような姿勢を持ち、日々信頼関係の構築に努めている。

保護者会や行事の実施後、保護者から感想や意見を聞き取り、次回の改善に活かしている

アンケートは実施していないが、保護者会や行事の実施後、保護者から感想や意見を聞き取り、次回の改善に活かしている。連絡ノートや送り迎え時の職員による声かけなどにより、保護者の声を汲み取り、話し合い、できることはすぐに対応している。利用者調査では「不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれている」と思いますが、回答者の78%が「はい」どの返答、「大切に考えていること」について、職員は話を聞く姿勢があると思えますが、関係して、「はい」と返答した方々は回答者の82%であった。

杉並区内保育施設地域懇談会も参加し、保育に関する情報を収集している

児童館、小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会や、区内の認可保育園・認証保育所・保育室・家庭福祉員などの保育関係施設の長が集まる杉並区内保育施設地域懇談会も参加し、保育に関する情報を収集している。近々の原重頼に出向き、地域の子育て中の保護者と話をしたり、区発行の各保育施設冊子等の資料を参考にするなどして、地域ニーズを収集している。杉並区保健福祉計画・園長会・幼保小連携担当者連絡協議会への参加や、新聞記事や書籍等で得た情報を確認しながら日々の保育に役立てている。

4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリー1(4-1)

実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

11/11

評価項目1
取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点(000)

| 評価 | | 標準項目 |
|-----------------------|----|--|
| <input type="radio"/> | あり | 1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している |
| <input type="radio"/> | あり | 2. 年度単位の計画を策定している |
| <input type="radio"/> | あり | 3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる |
| <input type="radio"/> | なし | |

評価項目2
多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点(0000)

| 評価 | | 標準項目 |
|-----------------------|----|--|
| <input type="radio"/> | あり | 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている |
| <input type="radio"/> | あり | 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている |
| <input type="radio"/> | あり | 3. 計画は、サービースの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している |
| <input type="radio"/> | あり | 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している |
| <input type="radio"/> | なし | |

評価項目3
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(0000)

| 評価 | | 標準項目 |
|-----------------------|----|--|
| <input type="radio"/> | あり | 1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している |
| <input type="radio"/> | あり | 2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている |
| <input type="radio"/> | あり | 3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している |
| <input type="radio"/> | あり | 4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる |
| <input type="radio"/> | なし | |

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サマカネゴリー毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービスマン提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

カネゴリー4の講評

年度初めに「チャレンジプラン」を策定し、その実現に向けて取り組んでいる

区では中長期計画としては、平成27年度から平成31年度(5か年)までの「杉並区保健福祉計画」を策定し、その中で、保育園に関する方向性も示されている。また、区保健福祉部・保育課の組織目標に基づき、当園では、サービスマンの現状を、ミット・テミット両面から職員会議等で検討策定し、年度初めに「チャレンジプラン」を策定し、目標を明確化し、その実行のための体制を整え、その実現に向けて取り組んでいる。半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行ない、年度末に実行状況をまとめ、次年度に活かしている。

避難訓練計画を作成し、月1回、火災・地震想定訓練を行っている

避難訓練計画を作成し、月1回、火災・地震想定訓練を行っている。水遊び・午睡時間中・近隣火災・散歩中・土曜日職員の少ない保育時や、日時を知らせず咄嗟の地震に対する訓練など、さまざまな場面を想定した訓練を行っている。また、毎月、防災頭巾の振り方についても教えている。実施後は反省会を持ち、次回に活かしている。消防署立会いのもと訓練を行い、消防士より訓練の評価、指導を受けている。他方、職員が不審者となり、子どもも一緒に防犯訓練を実施している。区所管部署からの不審者情報を掲示し、保護者にも通知している。

感染症の情報を掲示し、感染予防につなげている

感染症の情報を掲示し、感染予防につなげている。当園は看護師の配置がないため、近隣園の看護師に子どもの手洗いの方法をみてもらい、子どもに教示し、手洗い指導をしている。職員も着衣をこまめに取り換えている。園長が嘔吐物処理について研修を行い、アルバイトにも教育指導している。ヒヤリハットしたことは日々のミーティングの中で報告し、クラス日誌に記入し、その後、園日誌にも記載し、職員間で情報共有している。今年度、事故はゼロである。

5 職員と組織の能力向上

サブカネゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成
に取り組んでいる

サブカネゴリー毎の
標準項目実施状況

8 / 8

評価項目1
事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(0000)

| 評価 | | 標準項目 |
|---|---|---------------------------|
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2
職員の質の向上に取り組んでいる

評点(000000)

| 評価 | | 標準項目 |
|---|---|---------------------------|
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカネゴリー2(5-2)

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

サブカネゴリー毎の
標準項目実施状況

7 / 7

評価項目1
職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組
んでいる

評点(0000)

| 評価 | | 標準項目 |
|---|--|---------------------------|
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2
職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

| 標準項目 | |
|--|---|
| 評価 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 業務所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賞金、昇進・昇格、賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる |

カテゴリー5の講評

「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行なっている
 「平成27年度区職員人材育成事業実施計画」などで、目指す人材像を明確化している。「チャレンジプラン」(目標達成チェックシート)を使って、年2回以上の上司との面談を行い、個々の仕事目標や目標への達成度を振り返り、未達成の課題の状況把握や原因究明に努めている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をしている。人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行なっている。園児の状況などを考慮し、ミーティングなどで話し合い、職員配置(クラス担任)を決めている。

区保育課主催の「実務研修計画」は、研修目標を明確化し、研修内容は充実している

職員育成は、区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで行なっている。区保育課主催の「実務研修計画」は、研修目標を明確化し、研修内容は充実している。研修受講後は、研修レポートを提出し、会議などの場で研修報告を行ない、研修レポートを掲示している。パート・アルバイト職員に対しても、区主催の研修に派遣している。職員会議で、各クラスのカリキュラムについて報告、確認し合ったり、保育課程を見直すことで、職員個々が気づきを得て、保育スキルの共有化を図っている。

職員間のチームワークがよく、困った時に助け合える関係ができていいる

利用者数70名、職員数14名(そのうち非常勤職員2名)の小規模園である。幹部層は、職員一人ひとりの気づきや保育への向上心を認め、組織の中で発揮できるよう見守り、サポートしている。職員アンケートから、職員間のチームワークがよく、困った時に助け合える関係が構築されていることがわかる。職員からのどのような意見も大切にし、ボトムアップ式の職員参加型の運営を行っている。常勤職員の平均年齢45.6歳、常勤職員の平均在職年数4.25年である。

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サマカテゴリー1(8-1)
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

| | |
|--|--|
| 評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「ユーザーデータと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」 | <input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない |
|--|--|

改善の成果
職員会議の開催方法を見直し、効率的效果的な会議に改善している

・職員会議では、職員個々が自分の意見を出せたり、効率的效果的な会議の開催方法に工夫、改善している。
・幹部層は、職員個々の頑張ったことなどを認める言葉かけを行うことで、職員個々が自分の役割を自覚し、自律的・主体的に考え、行動できる組織づくりを行なっている。
・「園庭開放」は平日の午前中に実施しており、1か月平均6～7組の利用がある。「おもちゃで遊ぼう会」を年2回実施しているが、10月には地域の親子2組と地域の小規模保育室の団体が参加している。児童館に出向き、子育て懇談会で在宅で子育て中の保護者に対して、育児の話をしている。

サマカテゴリー2(8-2)
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

| | |
|--|--|
| 評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」 | <input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない |
|--|--|

改善の成果

職員個々の力が発揮できるよう、自分の力を発揮できるような職場環境を整えている

・職員力を発揮できるクラス編成を行なっている。新人職員がのびのびと自分の意見が言えるようなクラス編成を行ない、また、職員個々が自分の力を発揮できるような職場環境を整えている。
・職員育成は区保育課の研修等に派遣しており、研修受講後は、研修報告書を提出し、それを事務室に掲示したり、職員会議の中で研修報告をし、職員間で共有化している。今年度は、「保育現場で子どもの命をうばう深刻な事故の回避法」「ツール衛生講習会」「摂食指導」実践力を高めるための保育の視点」「子どもの発達を促した保育」「食物アレルギーの対応」などに参加し、保育のスキル向上を図っている。

サマカテゴリー3(8-3)
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

| | |
|---|--|
| 評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」 | <input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない |
|---|--|

改善の成果

利用者調査では、保護者と園との信頼関係に関して高い満足を得ている

・各お祭りや月寒の掲示で子ども様子を伝えるとともに、園としての思い、そこに至るプロセス等を保護者に伝えることに取り組んでいる。それにより子どもの成長を保護者とともに共感している。
・保育園を身近に感じてもらい、保護者が園に対して意見を言いやすい環境づくりに努めている。利用者調査でも「子ども様子の様子、子育てなどについて職員と話したり相談することができるよう信頼関係があると思いますか」に関して、回答者の94%が「はい」どの返答で、保護者と園との信頼関係に関して高い満足を得ている。

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

コスト削減に取り組みとともに、保育料収納率の向上に取り組んでいる
 ・給食調理用業務の委託や指定管理制度による保育園の公設民営化によるコスト削減に取り組みとともに、保育料収納率の向上に取り組んでおり、杉並区立園全体で、指定管理制度を5園に導入し、調理用業務委託についても平成27年度現在で24園で実施している。また保育料の収納率については平成26年度で97.93%(対前年比0.34%増)となっている。

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者会や行事の実施後、保護者から感想や意見を聞き取り、次回の改善に活かしている
 ・アンケートは実施していないが、保護者会や行事の実施後、保護者から感想や意見を聞き取り、次回の改善に活かしている。連絡ノートや送り迎え時の職員による声かけなどにより、保護者の声を汲み取り、話し合い、できることばすぐに対応している。利用者調査では「大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢があると思いますか」に関して、「はい」と回答した方は回答者の82%と、高い満足を得ていた。

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点(〇〇〇)

| 標準項目 | | 評価 |
|--|---|---------------------------|
| 1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | <input type="radio"/> 非該当 |
| 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | <input type="radio"/> 非該当 |
| 3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリ2の講評

入園内定者には健康診断と面接を行い、個別の事情や要望を聞き取っている

新入園児面接は平日の午後1日で実施している。予定が合わない場合には別日を案内している。親子で来園してもらい、園医による健康診断や身体計測を行い、事前に簿記記入してもらっている「入園までの生活状況」、「入園までの健康状況」などについて個別に面接を行い、入園当初の保育について説明し、家庭の事情も聴いている。面接は主に担任予定保育士が担当して、入園までの生活状況や遊びの様子などについて聴き、健康面は看護師、離乳食などは栄養士が聴いている。保育時間や保育の要望などは園長が面接している。

3月下旬に入園説明会を行い、保育目標やお願い事項などを説明している

3月下旬の土曜日の午前中に入園説明会を行っている。園長、主査、栄養士で「園のしおり」、「保育園ご利用にあたっての重要なお知らせ」をもとに、保育理念や保育目標、保育園からのお願い事項、個人情報保護、不慮の事故対応についてなどを説明している。説明会の内容について聴きましたと同感をもらっている。説明会終了後は、2階の1歳児室などで、持ち物や朝の支援の仕方などを説明している。

初日は子どもと一緒に過ごしてもらい、個々に応じて徐々に保育時間を延ばしている

慣れ保育について入園面接で説明し、家庭の事情も聴いている。慣れるための保育は子どもの状況にもよるが、できれば1週間程度で終了し通常保育にする旨を伝えている。子どもの慣れ具合を見ながら個々に、保育時間を少しずつ延ばしている。事情により慣れ保育ができない場合にはそれに応じている。お迎えの時に子どもの様子を詳しく伝え、保護者の不安も和らげるように配慮している。

サブカテゴリ3

| 3 個別状況に応じた計画策定・記録 | サブカテゴリ1毎の標準項目実施状況 | 12/12 |
|-------------------|-------------------|-------|
|-------------------|-------------------|-------|

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面に明示している

評点(〇〇〇)

| 標準項目 | | 評価 |
|--|---|---------------------------|
| 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | <input type="radio"/> 非該当 |
| 2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | <input type="radio"/> 非該当 |
| 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2
子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している

評点(○○○○○)

| 評価 | | 標準項目 |
|----------------------------------|-----------------------|--|
| <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | 1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している |
| <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | 2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている |
| <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | 3. 計画を保護者にかわりやすく説明している |
| <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | 4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている |
| <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | 5. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している |

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(○○)

| 評価 | | 標準項目 |
|----------------------------------|-----------------------|---|
| <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | 1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある |
| <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | 2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している |

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(○○)

| 評価 | | 標準項目 |
|----------------------------------|-----------------------|---|
| <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | 1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している |
| <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | 2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している |

サブカテゴリ3の講評

保育士は子どもの様子を保育日誌や連絡帳、児童票などに記録し把握している
朝の受け入れ時は挨拶の後子どもの観察をし、子どもの家庭での様子を保護者に直接聞いています。観察結果や家庭からの情報を指診票に記入している。視診票の情報を基に保育を行い、保育日誌や乳児の連絡帳などに記入している。児童票の保育経過記録には1歳児は1か月毎、1歳児は2か月毎、3歳児からは3か月毎に記載し、月1回の身体測定、年2回の健康診断などの結果も記録している。保護者会は年2回実施して保護者会記録に記入し、個人面談は年1回実施して児童票の個人面談記録に記載している。

月案はクラス担任同士や職員間で話し合って作成し、掲示して保護者に知らせている
月間指導計画(月案)は担任同士で子どもの姿やクラスの状態を反省、考察して、次月の計画を作成している。1・2歳児は個別計画を作成し、3～5歳児は必要に応じて個別配慮を記録している。半期反省も行っている。月末に月案の打ち合わせを行い、職員から意見をもらっている。保護者の要望や意見は保護者会や個人面談、保護者会後のティークタイム、連絡帳、日常会話でもらっている。年間指導計画を年産初めの保護者会で配布し、毎月の月案は掲示している。園だよりやクラスだよりでも取り組みを知らせて情報の共有を図っている。

子どもに関する情報は、各種の会議を開催して職員間で共有している

子どもに関する情報の共有は各種会議で行っている。屋会議は週1回午睡当番以外全員が参加して行っている。遊樂訓練、研修報告、行事予定、反省、課題など緊急性のあるものから議題にしている。夜職員会議は17時15分から行い、囀託の栄養士・保育士も参加して、保育課程の見直し、園の課題についてなどを検討している。毎日のミーティングは昼間に約15分程度行い、明日の体制や食物アレルギーの確認、報告事項等を行っている。その他、乳児・幼児・打ち合わせやクラス会議、アレルギー確認打ち合わせ等を実施している。

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重
評価項目1
子どものプライバシー保護を徹底している

評点(00)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. 子どもに関する情報(事項)を外部和りやりとする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようになっている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている | ○非該当 |

評価項目2
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点(00000)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ●あり ○なし | 1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている | ○非該当 |

サブカテゴリー5の講評

個人情報の取り扱いについての考え方を入園説明会や保護者会で説明している
入園説明会や春の保護者会で、「和泉保育園のご利用にあたって 重要なお知らせ」ビデオ撮影等及び画像データの提供について」の文書に基づき、個人情報保護の考え方や写真や映像の撮影について話をしている。保育所児童保育要録については4歳の保護者会と5歳の最初の保護者会で伝えている。

一人ひとりの子どもを大切にするという区の実践方針に沿って保育をしている
区の保育実践方針に示している「一人ひとりの子どもが、大切にされ認められたいという満足感をもてるように」に沿って保育をしている。失敗しても大丈夫と認めるようにし、おもしろやおねしょをした場合も他の子に見えないところでサッと取り換えている。子どもの個性を大切にし、名前を呼ぶ時は～ちゃん、～くんと呼び、年長組では～さんと呼んでいる。「自分で～したい」という場合には、大人が強制せずに行うことができるだけその子の意見や気持ちに寄り添いきみ取っている。

保護者の考えや家庭の価値観はできるだけ受け入れ、柔軟に対応している
公立園であり宗教色を出すような行事などはしていない。家庭の価値観で、子どもに習い事をさせたいと決まった保育時間より早めにお迎えに来ることも受け付けている。また、夏の水遊びの際には、紫外線対策としてラッシュガードを着せたいという申し出がある場合にも受け付けている。

| | | | | |
|---|--|------|------|-----------|
| 評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている | | 評価 | 標準項目 | 評点(○○○) |
| ●あり ○なし | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている | ○非該当 | | |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている | ○非該当 | | |
| ●あり ○なし | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している | ○非該当 | | |
| 評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている | | 評価 | 標準項目 | 評点(○○○) |
| ●あり ○なし | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改善の時期や見直しの基準が定められている | ○非該当 | | |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子ども様子を反映するようにしている | ○非該当 | | |
| ●あり ○なし | 3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもちに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる | ○非該当 | | |
| 評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している | | 評価 | 標準項目 | 評点(○○○○○) |
| ●あり ○なし | 1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている | ○非該当 | | |
| ●あり ○なし | 2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している | ○非該当 | | |
| ●あり ○なし | 3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている | ○非該当 | | |
| ●あり ○なし | 4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している | ○非該当 | | |
| ●あり ○なし | 5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている | ○非該当 | | |

区立園共通の危機管理マニュアルの他に、園独自のマニュアルを作成し活用している

区立園で共通の「危機管理マニュアル」を整備しており、そのマニュアルに沿って対応している。園独自の運営マニュアルとして、「保育中の緊急対応及び保護者対応マニュアル」「土曜日の鍵について」「朝夕保育土曜日の保育時の対応」「散歩に関する確認事項」「アレルギ一対応確認」「パートの仕事」などを作成している。マニュアル類はいつでも見ることができるよう、朝夕保育や土曜保育・延長保育の部屋や必要とするノートなどに貼ったり、置いたりして、その都度見て、対応がスムーズにできるようにしている。

業務水準の向上のために必要に応じてマニュアルの見直しをしている

園の運営マニュアルは、年度末に職員に目を通して聞いてもらい、変更する必要がある箇所は検討して見直しをしている。年度末以外でも、防犯上の観点から「土曜日の鍵の管理が心配」などと職員からの声があった場合などは、手順を整理して案を作り、職員会議で検討している。保護者からの要望や意見は保護者会や個人面談、連絡帳、日々の保護者との会話で収集している。

ヒヤリハット事例検討や施設の危険箇所点検などを行い子どもの安全に配慮している

ヒヤリハットの経験をすぐにミーティングに出してみんなで検討している。門と扉の隙間を出入りしている子どもを目撃した時に、子どもにはいけないことであると知らせ事故には至らなかったが、その日のうちにすぐに対策を検討している。また、公園と園庭との間の扉がきちんと閉まらなかった時は、すぐに役所に連絡して施設課に来てもらい修理してもらっている。日常から延長番や夕保育当番は戸締まりの際に、危険箇所がないかチェック表にチェックをしている。

サービスの実施項目

サブカテゴリ—毎週の
標準項目実施状況 37 / 37

1 評価項目1
子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

| 評価 | | 標準項目 |
|--------------------------|--------------------------|--|
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている |

評価項目1の講評

子どもが興味関心を示すように、自分で選び手に取って使えるように環境設定している

室内の環境設定には、子どもたちが興味関心を持つように玩具の設定をしている。部屋にダンボールや切って遊んでよい紙などを置き、作って遊ぶようなおもちゃも置いておくと、子どもたちが自ら制作して遊んでいる。園庭にもゴザ、タイヤ、お風呂マット、木製の可動遊具類等を用意して、自由に遊んで遊んでいる。遊具や玩具類は、自分で選んで、手に取って使えるようにしており、子どもの発達に合わせた木製玩具や手作り玩具を、子どもが使いたくなるように並べて置き、人形はベツトや布団に寝かせておくなど整理された空間にしている。

4・5歳児が同室で生活しており、日常的に異年齢交流をしている

当園は1階に保育室3室と遊戯室がある。2～5歳児が生活しているため、4・5歳児が同室で生活している。保育室は広くはないので仕切ることではできず、担任は子どもたちの活動を保障するために連携し、一緒に活動したり、別々に活動したりして工夫している。日常の自由遊びでは、年齢に関係なく子どもたちが自由に関わって遊んでいる。4・5歳、3・4歳と一緒に手をつないで散歩に行き、一緒に虫探しや花摘みをしている。5歳児は1月頃から1歳児の部屋に遊びに行くこともしている。

子ども同士のトラブルには両方の意見や思いを聴いたりくみ取ったりして対応している

子どもの発達過程を保護者などで説明している。1歳児の場合、自分の思いを言葉でうまく表現できないために噛みつきなどのトラブルが起きやすいことを伝えている。子ども同士のトラブルには、両方の意見をしっかりと聴いて、年齢が小さい場合は「～したかったね」とそれぞれの子どもの思いを汲み取り言葉にしてやり、幼児では「～したけど、どうしたらよかったのかな」とお互いに考えさせるようにしている。双方の保護者にはトラブルの状況を説明し、謝罪を行ない、クラスで保育の見直しや工夫を行ない、改善に取り組んでいる。

2 評価項目2

家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | | 標準項目 |
|--------------------------|--------------------------|---|
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状態に配慮している |
| <input type="radio"/> あり | <input type="radio"/> なし | 4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている |

朝の受け入れ時には家庭での子どもの状況を保護者に確認している
朝の受け入れ時には笑顔で親にも、子どもにも名前を呼んで挨拶をしている。保育士は子どもの様子を観察し、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている。乳児の連絡帳は手渡ししてもらい、内容を見た後、確認する必要があるれば保護者に聴いている。クラスごとの視診票に記載している。朝保育の当番が受け入れをした場合には、引き継ぎの際に、視診票と連絡帳を渡しながら、連絡事項について口頭で伝えている。

生活習慣の自立に向けた取り組みは家庭と協力しながら進めている

食事や排泄、着脱などの基本的な生活習慣の自立に向けては、子ども一人ひとりの状況を家庭と園で情報交換し、どう進めていくかを相談しながら取り組んでいる。掲示している月案を見てもうったり、クラスだよりで伝えたり、個別に連絡帳で書いていたり、直接顔を合わせた時に相談したりしている。トイレ・ポイントメニューなどは早くハズシたいなどの意見もあるが、ゆっくりで良い等の考え方もあるので、子どもの状況を良く見て、保護者に伝えながら進めている。

午睡は個々の子どもの状況に応じて長さや時間などを配慮している

24時間ターナルで子どもの様子を把握して無理なく過ごせるように保育している。保護者から連絡帳や口頭で伝えてもらった家庭での睡眠情報や活動内容と子どもの状況、子どもの疲れ具合や眠気が強そうな様子などから、午前に寝かせたり午睡の目覚めを待つなど個別の配慮をしている。早めに目覚めた子は起こして静かに遊ばせている。5歳児は3月に入ってから、午睡時間を短くしていき徐々に寝ない日を設けながら、就学に向けた生活のリズム作りをしている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|-----------|---|-------|
| ● あり ○ なし | 1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている | ○ 非該当 |
| ● あり ○ なし | 2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている | ○ 非該当 |
| ● あり ○ なし | 3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している | ○ 非該当 |
| ● あり ○ なし | 4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じることができるよう視点を取り入れている | ○ 非該当 |
| ● あり ○ なし | | ○ 非該当 |

評価項目3の講評

子どもが遊び込めるように、細切れではない生活時間と遊べる空間作りを工夫している

保育目標「好きな遊びに夢中になれる子」を目指して、子どもたちが遊び込めるように、細切れではない生活時間と遊べる空間を意識している。1・2歳児の場合、他の子から自分の遊びを邪魔されないようにコーナーを区切って遊ばせている。個々でじっくり遊べるように少人数活動をしており、廊下の廊やホールの際、多目的室などのスペースを活用して遊べる場所を作り、落ち着いて安心して遊べる空間にしている。夏祭りの神輿作りでは、一人ひとりがイメージしたうさぎ・龍・ハート等の神輿の意見を取り入れ、1か月かけて作り上げている。

子どもが熱心に取り組んでいるものや得意技などを運動会の種目にしていく

集団遊びにはすぐに自分から入っていきける子どもはなかなか入れない子がいるので、そのような子どもでもやりたいくなるような取り組みをしている。運動会や夏祭りに向けて「～をするからがんばろう」と取り組むのではなく、春から子どもたちが熱心に取り組んでいるものを、運動会や夏祭り等の行事に取り入れられている。5歳児は皆で縄跳びを披露し、缶ぼっくり、竹馬、縄跳び等の自分の得意技をする種目を取り入れて、どの子も自分のことができることを皆に見てもらっている。鬼ごっこや中当てトッチボールも良く遊び、仲間同士でルールを決めて遊んでいる。

恵まれた自然環境の中で、野菜の栽培や収穫、昆虫の飼育などを体験している

園庭の隣りが公園。その向こうが川と遊歩道、近隣には公園も多く大変自然に恵まれて、季節の移り変わりを体験できる環境である。セミヤトカゲ、カナヘビ、ヤモリ、だんごむしなどが辺りに沢山いて、見たり捕まえたりすることができる。子どもたちは飼育したいと試み、餌や飼育方を調べたりして飼育している。庭には桜や柿、ピロの木があり、花を染みみ柿の実もぎをして、栄養士・調理担当職員に切ってもらい、食べている。園庭で栽培しているサツマアオイやキユウリ、ピーマン等の野菜の水やりや世話を通して植物の成長に関心をもち収穫を楽しんでいる。

4 評価項目4

行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している | ○非該当 |

評価項目4の講評

子どもたちが興味をもち皆で考えて作り、運動会や夏祭り、お店やごっこをしている

10月の土曜日の運動会は園庭で、雨天の場合は学校の体育館を借りて実施している。5歳児は皆で振り付けを考えて縄跳びで表現遊びをしたり、通常は全クラスしているリズム遊びを披露したりしている。夏祭りのねらいは、親子で楽しむことであるが、5歳児が自分たちで考えて作ったお神輿をかついで回ったり、4、5才がお揃いのハッピにねじりはちまき姿でソーラン節を踊ったりしている。お店やごっこでは、小学校の緑日に参加して、へびたたきの経験したことで、5才からやりたいとの声が上ががり、お金は、品物はと考えてチケットも作っている。

年間行事予定表を早めに配布し、おたよりなどで日程や取り組みの様子を伝えている

年間行事予定表を4月早々に出して、予定してもらえようとしている。保護者参加行事は夏祭りや運動会、年2回の保護者会と個人面談である。雨の場合変更になる行事はその旨を伝えている。園たよりやクラスたよりの中で行事日程や子どもたちの取り組みの様子を知らせている。行事のお知らせやブログラムなども配布して、夏祭りではソーラン節を踊る子ども並び位置をクラスだよりで事前に知らせ、保護者が写真や映像を撮りやすいように配慮している。2月実施の保護者会の後には、子どもたちの合奏や劇ごっこなどを見てもらっている。

地域の高齢者向け施設や保育室、ボランティアなどと交流している

併設の高齢者向け施設(ゆうゆう館)のお年寄りと月1回4・5歳児が交流している。合奏を披露したり、歌を歌ったり、盆踊りを一緒に踊ったり、手遊びを一緒にしたりしている。ボランティアが絵本の読み聞かせをしてくれるおはなしのポテットは月1回で子どもは楽しみにしている。園の運動会や夏祭りのボスターは地域の商店などにも貼ってもらい、卒園児や地域の方、地域の保育室が参加している。地域は、3・4歳児が交流し一緒に集団遊びをしたり焼き羊会に招待したり、毎週土曜日に遊びに来てくれたりしている。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 年齢の違う子どもも楽しく遊べるような配慮をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている | ○非該当 |

評価項目5の講評

子どもと信頼関係ができていているいつもの職員と一緒に安心できる環境で過ごしている

17時までクラスで保育し、夕保育になると幼児組と乳児組がそれぞれ合同で過ごしている。18時30分からは一緒に2歳児室で捕食を食べて延長保育に入っている。押し入れ跡を遊び場にした押し入れコーナー(お家の部屋のよう装飾している)、ゴロゴロできるようなシーツなどを用意して、一人ひとりの遊びが邪魔されないで遊べるようにしている。夕方のベント職員はいつも同じで、子どもとの信頼関係ができており安心して一緒に遊んでいる。延長保育の時に使うおもちゃとして、買い物ゲーム、トランプ、ぬりえ、玉さし盤などを用意している。

保育者が仲立ちになりながら異年齢の子ども同士一緒に遊んでいる

4・5歳児は同室で生活しており、3歳児とも一緒に散歩に行くなど異年齢の交流は盛んである。夕保育や延長保育になっても自然な異年齢の関わりがある。兄弟関係もあり、年齢に関係なく、積み木遊びが好きな子どもたちが集まって遊んだり、一緒に絵本を読んでもらったりしている。折り紙遊びでは小さい子に「作ってあげようか」と言って作ってくれたり、折り方を教えてくれたりする年長児もいる。保育者が仲立ちになりながら、異年齢の子ども同士と一緒に遊べるように配慮している。

お迎えの時には連絡事項と一緒に子どもの様子も伝えている

お迎えの際には、笑顔で「おかえりなさい」の挨拶をするようにしている。担任から託された連絡事項がある場合には視診票の保育園からの欄に記入してあることを漏れなく伝え、子どもの様子も伝えている。担任以外の当番の場合は目の前の遊びの様子を伝えるようにしている。夕保育や延長保育時に起きた怪我や発熱などの出来事についての職員への連絡は、園日誌に書いていたり、翌日の視診票に記入して伝えたり、翌日の早番のロッカーに伝言を貼るなどして漏れがないようにしている。

6 評価項目6
子どもが楽しく安心して食べることのできる食事を提供している

評点(○○○○○)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ◎あり ○なし | 1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている | ○非該当 |

評価項目6の講評

落ち着いて楽しく食事ができるように席を決めたり、会食の機会を設けたりしている

落ち着いて食べられるように、決まった大人と一緒に決まった席で食べている。献立は区立園の共同献立であり、2週間のサイクルメニューである。伝統行事の時は特別献立の会食をしているが、七夕献立は七夕ちらし、鶏肉の照り焼き、サラダ、天の川スノーブであり、星形の人参が入っているちらしを喜んでいいる。12月はお楽しみ会食でバイキングにし、春は桜の花を見ながらのお花見会食もしている。お誕生日の時はおめでどの旗が立ちトレーにのせた給食を提供し、子どもたちは楽しみにしている。

幼児を中心に野菜の栽培や調理の手伝い、調理保育等の食育活動に取り組みんでいる

野菜の栽培や調理の手伝い、調理保育など、年間食育の取り組み計画を作成している。幼児が中心であるが、ピーマンを収穫して種とりをし、調理してもらい食べたり、収穫したサツマイモを焼き芋にしたりしている。給食食材のそら豆のさやむき、枝豆のもぎ取り、トウモロコシの皮むきなどをして、月風団子作りやおにぎり作り、クッキー作りも経験している。さんまの解体や米が炊ける様子をガラス窓で見える等食材への関心を高める取り組みをしている。栄養士は毎日子ども達の喫食状況を見て、食事のメニュー、お箸やスプーンの様子なども知らせている。

園の食育の取り組みの様子を写真やおたよりで知らせたり、給食試食会を行っている

園の食育の取り組みを知ってもらうために、さんまの解体や桜の下での花見会食、ピーマンの種取りなどの様子を写真で紹介して見せてもらっている。クラスだよりや給食だよりでも知らせている。毎日給食の展示をしており、給食献立の人気のメニューはレインボードを作成して配布し、実際に家庭で作った人からの意見を求めている。春の保護者会には事前希望をとり、給食試食会を実施しており、試食後にはアンケートをお願している。

7 評価項目7
子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている

評点(○○○)

| 標準項目 | | 評価 |
|---|--|---|
| 1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている | | <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> 非該当 |
| 2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている | | <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> 非該当 |
| 3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている | | <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目7の講評

手洗いなどの感染症予防や身の回りの危険について、看護師や保育士が知らせている

看護師は在園していないが、健診の時などに連携園から来てもらっている。その折を利用して、フラックライトを使用して手洗いの指導などの健康教育をしている。日常の保育の中では、保育士が身の回りの危険や怪我防止の場面をとらえて、散歩で道路を歩く時には交通ルールを知らせ、公園の遊具で遊ぶ時には公園から外に出て行かないことなどを注意している。園庭で乳児組も一緒に遊んでいたりと、大勢と一緒に遊んでいて危険と判断した時には、固定遊具に「お休みマーク」を付けて、使用禁止にするなどしている。

慢性疾患等で保育園でも与薬の必要があると判断されたものについて、薬を預かっている

原則、薬は預からないことになっているが、慢性疾患等で保育園でも与薬の必要があると判断されたものについて、薬を預かっている。預かる場合には保護者からの与薬申込書に保護者と主治医の印鑑が必要で、かかりつけ医の与薬指示書ももらっている。6か月ごとに受診結果を報告してもらっている。嘱託の園医は年3回健康診断に来ていている。健康面の保護者からの質問などには、連携園の看護師に連絡したり、園医に相談したりしている。園児の怪我の場合は、複数の職員で見た上で最終的に園長が判断して受診するかどうかを決めている。

乳幼児突然死症候群(SIDS)について保護者に伝えている

毎月ほけんだよりを発行して、保健関係行事のお知らせや、感染症情報、季節ならではの健康上の注意等を掲載している。園で感染症が発生した場合には、すぐに、各クラス出入り口の良く見えるところに感染症発生のお知らせを貼り出し、注意を喚起している。保健所や役所等から感染症等のポスターや情報が来た場合には貼り出して見てもらっている。乳幼児突然死症候群(SIDS)については、園では顔色、体位など10分おきに午睡チェックをしている。保護者には、園の取り組みを春の保護者会で伝えている。ポスターが配布された場合には、掲示している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(○○○○○)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|---|--|
| <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし | 1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている 4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている 5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている | <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目8の講評

保護者の就労や家庭などの個々の事情には配慮して対応している
 保育時間は、勤務時間と通勤時間に職場の状況や家庭の事情なども考慮して決めている。急な残業の場合には延長スポットを利用してもらっている。園だより「はらっば」で延長保育の利用について掲載して、必要な場合の利用を呼び掛けている。病氣や入院などで延長保育や土曜保育を希望される場合にも、「役所にも確認とりまじだよ」と安心して使ってもらえるように話している。繁忙期だけ保育時間を長くして欲しいと要望される場合は具体的に事情を聴いて対応している。

保護者会後のナイタータイムや運動会の弁当など保護者同士が親睦を図る機会を作っている
 各クラスの保護者会は13時30分～15時で実施しているが、園からの話だけでなく保護者同士話せるように、グループ懇談の時間も作っている。終了後に、ナイタータイムの時間をとり、子どもがおやつを食べている間、事務室で待ってもらっている。保護者同士自由に話してもらい交流ができるように、お茶を出しながら話題を提供したり、話をつないでいりして和やかな雰囲気づくりを心がけている。運動会当日は、終了後に園庭でまるく保育保護者同士の親睦を図りながら、お弁当を食べるようにしている。

保育士は日頃より保護者との対話を大事にして、情報共有を心がけている

保育士は日頃から保護者との対話を大事にしており、朝夕の受け入れやお迎えの時には、直接子ども様子を伝えるようにしている。また、保育園の保育を知ってもらうために、幼児組の保育日誌(今日の子どもの様子・クラスの活動・お知らせ等)、食育活動や散歩、遠足などの子どもの様子の写真を事務所のガラス窓に貼り出して見ってもらっており、クラスの入口には月案を貼り出している。また、毎月発行しているクラスだよりの中などで、担任の紹介の詳しい内容や保育に対する思いを知ってもらうようにしている。

9 評価項目9
 地域の一斉に即した子育て支援を実施している

評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|-----------|---------------------------------------|-------|
| ● あり ○ なし | 1. 地域における在宅子育て家庭の一斉に応じた子育て支援事業を実施している | ○ 非該当 |
| ● あり ○ なし | 2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている | ○ 非該当 |
| ● あり ○ なし | 3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている | ○ 非該当 |

評価項目9の講評

園独自の子育て支援事業として「園庭開放」や「おもちゃで遊ぼう会」を実施している

区の事業として、「ふれあい保育」「緊急一時保育」をしているが、「緊急一時保育」は現在1か月間受けているところである。「園庭開放」は平日の午前中に実施しており、散歩先でペンフレットを配り「遊びに来てね」と声をかけて、1か月当り6～7組の利用があり「子育て相談」も育て懇談会で一歳児の生活って～保育園を例に～」で1才前後の子とも保護者の80組くらいに話をしたり質問にに応じたりしている。

「おもちゃで遊ぼう会」に参加した母親同士一緒に遊びながら仲良くなっている

年2回実施している「おもちゃで遊ぼう会」に参加してもらい、木製のおもちゃで遊ぶ子ども様子を一緒にみながら、保護者同士も会話をしている。終了後には、卒乳のタイムニング、子どもの言葉がはつきりしてくるのは何時頃、食べさせ方、良いこと悪いことがわかるのは何時頃かなどの具体的な質問が出され、参加者の母親同士わかって安心した様子がみられている。

年間反省会や子育てネットワークの会議で子育て支援事業について評価見直しをしている

年間反省会で園庭開放や子育て相談、地域の方への子育て支援事業の取り組みについて振り返っている。児童館を中心にした地域のネットワークの会議でもそれぞれの取り組みについて振り返りを行っている。職員は前向きな姿勢を持っており、今後、地域の子育て支援への意識を高めていき、公立保育園としてできることを検討したいと考えている。

| | |
|--------------------|--|
| 事業者が特に力を入れている取り組み① | |
| 評価項目 | 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している |
| タイトル① | 保護者と協力し合って保育をすすめていくために、保育情報を掲示している |
| 内容① | 区の方針の一つ「保護者と協力した『共育て』の推進」のために、保育情報(記録)の開示を進めている。年度初めの保護者会で年間の保育の見通しと年間保育指導計画を説明している。月案は毎月、クラスの入口に掲示している。日々の子どもの様子は乳児組では連絡帳を使用して伝え、幼児組は保育日誌を掲示して、子どもの様子やクラス活動などを伝えている。活動の様子が分かりやすいようにコメント付きの写真も掲示している。門からすべての事務室の窓に、給食展示も隣同士に掲示し、照明で暗くなってからの迎えの人でもわかるように工夫している。 |

| | |
|--------------------|---|
| 事業者が特に力を入れている取り組み② | |
| 評価項目 | 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている |
| タイトル② | 家庭的な雰囲気の中で、保護者との信頼関係を育みながら保育をすすめている |
| 内容② | 小規模園ならではの家庭的な雰囲気の中で、保護者との信頼関係を育みながら保育をすすめている。利用者調査では「子どもの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるよう信頼関係があると満足」満足に關して、「はい」と答えた方々は回答者の94%であった。総合的な感想では、回答者の98%が「大変の成長が分かっておりかたいいなどの声」が寄せられていた。 |

| | |
|--------------------|--|
| 事業者が特に力を入れている取り組み③ | |
| 職員のやる気向上に取り組んでいる | |
| 評価項目 | 5-2-2 |
| タイトル③ | 良いなチームワークで、保育の質向上につなげている |
| 内容③ | 日常の保育のほか、毎日のミーティングや週1回の定例打ち合わせ、月1回の職員会議などを通して、クラス部署を超えて、子ども一人ひとりの姿について確認し合い、情報共有ができています。職員アンケートからも、職員のチームワークが良く、縦と横のコミュニケーションが良好であることがうかがわれる。その結果、利用者調査で高い満足度につながっている。 |

| No. | 特に良いと思う点 |
|-----|---|
| 1 | <p>自然環境も室内環境も最大限活用して子どもたちの豊かな環境になるよう工夫している</p> <p>園庭にはジャングルジム、登り棒、雲梯、鉄棒、フラジコなどの固定遊具があり、園庭が全員で遊んでも良いほどの広さがあり、春は桜の花、秋は柿の実もさまざまな季節の移り変わりを体験できる自然環境である。室内環境は4・5歳児が同室で生活している状況である。限られた環境を有効活用しようとして、玄関のグリーンスペースをクローバーと名付けドールハウスを置いて遊びのコーナーにしている。その他ホールの隅をさくらルーム、予備室をつくしルームと呼び、いずれも少人数グループで落ち着いて遊べるコーナーとして工夫している。</p> |
| 2 | <p>園庭に咲いた桜を利用して、子どもたちが桜の塩漬け作りに取り組んでいる</p> <p>栽培した野菜を収穫して調理して食べるなどの様々な食育活動をしているが、園庭に咲いた八重桜の下で幼児組合同でお花見会食を実施して、桜の塩漬け作りにも取り組んでいる。子どもたちは担任が切り取った桜の花を木の下で受け止めたり、七分映き五分映きの花を分けたり、水洗いをしたり、乾かしたり塩を振ったりして作業に取り組み、ピンク色や匂いの変化を実際に感じて作っている。数日かけた取り組みの様子は毎回写真で保護者にも伝えている。できた塩漬けの桜は、桜茶にする予定である。</p> |
| 3 | <p>地域の高齢者やボランティア、中学生や高校生の体験学習など様々な人と交流している</p> <p>併設の高齢者向け施設(ゆうゆう館)との交流会は年1回秋頃に3・4・5歳児が南京玉簾や手品を見せてもらったり、一緒に輪投げをしたりしている。同じゆうゆう館の銀の会との交流は月1回で、5歳児と4歳児が交代で遊びに行き、歌や合奏を思ってもらったり一緒にゲームをしたりしている。地域のボランティアによる絵本の読み聞かせは月1回年長組にももらっている。「おもちゃであそぼう」を年2回開催して、地域の親子や近隣施設の子とも職員も参加している。また、地域の中学生や高校生の職場体験学習なども受けている。</p> |
| No. | <p>さらなる改善が望まれる点</p> |
| 1 | <p>地域支援や共育で、小学校との接続等の視点を盛り込んだ保育課程の更新を期待したい</p> <p>保育課程には保育理念、保育目標を示し、養護と教育の5領域と食育のねらいを示している。年齢区分では乳児期はおおむね1歳から、おおむね2歳から、おおむね3歳からの3区分で示し、幼児期はクラス年齢の3区分にして領域ごとに子ども発達過程に即して内容を表している。しかし、現在力を入れて取り組んでいる、地域支援や保護者との共育での視点が盛り込まれていない状況である。今後、求められている小学校との円滑な接続の視点も視野に入れ、保育内容のより一層の向上のために保育課程の更新を期待したい。</p> |
| 2 | <p>小さなリスクを記録に残し、事故予防につなげていく仕組みの構築が望まれる</p> <p>平成27年12月の訪問調査時点で、通院を伴う大きな事故は起きていなかった。保育士が個々の子どもの動きからリスクを察知する力があるためと考える。小さな事故でも、日々のミーティングの中で情報をタイムリーに出し、状況を伝え、事故防止につなげていくような話し合いが行なわれている。ミーティングノートや園日誌に記載し、職員全体に周知している。しかし、職員集団は定期的な人事異動で変わっていく、子どもの集団も変化していく。そのため、小さなリスクを記録に残せる特定の用紙を使い、事故予防につなげていく仕組みの構築が望まれる。</p> |
| 3 | <p>職員の就業環境の改善に向けたより一層の取り組みが望まれる</p> <p>常勤職員の平均年齢46歳であり、経験豊富な職員集団である。また、職員間のチームワークが良好で、ポトムアップ式の職員参加型の運営を行っている。職員アンケートからも、メンタル面での心配はないようであるが、有給休暇の取得率は40%以下である。職員の心身の健康管理に向けて、定期的なストレスチェックの仕組みや有給休暇の取得率向上への取り組みを期待したい。</p> |

3. 大宮保育園

大宮保育園



調査対象

利用児93名の保護者73世帯。調査票の記入者：母37名、父母一緒に5名、その他1名、無記入4名。記入者年齢：「25～30歳未満」2名、「30～40歳未満」24名、「40～50歳未満」16名、「50歳以上」1名、無記入4名。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内に設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接当評価機関へ直接投函していただいた。

利用者総数

73

共通評価項目による調査対象者数

73

共通評価項目による調査の有効回答者数

47

利用者総数に対する回答者割合(%)

64.4

利用者調査全体のコメント

・総合的な感想は、「大変満足」21名(44.7%)、「満足」20名(42.6%)、「どちらでもない」13名(6.4%)、「不満」1名(2.1%)無記入2名(4.3%)であった。「大変満足」および「満足」と返答された方々は、回答者の87.3%であり、サーベスに対して高い満足を得ている。
 ・回答者の80%の方々が満足と答え、満足度が高い設問は、問1「食事の工夫」、問2「戸外遊びの工夫」、問8「清潔保持・整理整頓」、問9「職員の接遇・マナー」、問10「緊急時の対応」、問12「子どもの気持ちへの配慮」であった。
 ・自由記述では、「いつも子どもの気持ちを尊重し、あたたかい保育をしてもらっている」「食物アレルギーにしっかりと対応してもらっている」「担任の保育士が変わることなく卒園まで同じクラスでいて欲しい」などの声が寄せられた。

利用者調査結果

| 共通評価項目 | 実数 | | | |
|---|----|---------------|-----|------------|
| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無回答 非該当 |
| 1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか | 45 | 1 | 0 | 1 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の95.7%で、提供されている食事に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「とても工夫されている」等の声が寄せられた。 | | | | |
| 2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか | 40 | 6 | 0 | 1 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の85.1%で、自然や社会との関わりに関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「アウトドアやなど、工夫して遊ぶことが配慮されている」「天気の良い日は午前中だけでなく午後も園庭で遊ぶことができるので、充分に体力を使い、夜はぐっすり休むことができる」と言っている等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「不満がある」と言うほどではありませんが、室内遊びの日が多いと感じる」「お散歩が少ない気がする」との意見が寄せられた。 | | | | |
| 3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応しているか | 36 | 6 | 2 | 3 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の76.6%で、保育時間の柔軟な対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「連絡すれば柔軟に対応してくれる」選んできましたとき、「慌てないでお気をつけて」と言ってもらい、ありがたい等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「制度はあるものの、もう少し柔軟な対応が望ましいと思う」等の声が寄せられた。 | | | | |

| | | | | |
|---|----|----|---|---|
| 4. 安全対策が十分取られていると思うか | 32 | 14 | 0 | 1 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の68.1%、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の29.8%であった。「はい」と返答した方々からは、「遊具の使い方や避難訓練等、対策は安心している」「保育時間だけでなく、お迎えの時間も番号認証にかぎがかけられていて、とても安心できる」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「隣の建物が壊れそうで不安」等の声が寄せられた。 | | | | |
| 5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か | 27 | 12 | 6 | 2 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の57.4%で、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の25.5%であった。「はい」と返答した方々からは、「面談が土曜日だと、なおありがたい」「保護者会は平日夕方方にして欲しい」等の要望も寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「もう少し早めに日時を教えて欲しい」等の声が寄せられた。「いいえ」と返答した方々からは、「保護者会は会社を休まないといけない」等の声が寄せられた。 | | | | |
| 6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか | 35 | 10 | 1 | 1 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の74.5%で、家庭と保育所の信頼関係に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「先生方が細やかに気を配ってくれる」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「職員によって差がある」「なかなか話す機会がない」等の声が寄せられた。 | | | | |
| 7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか | 36 | 8 | 2 | 1 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の76.6%で、保護者の考えを聞く姿勢に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「担任が早く帰るため、話すこともないため分からない」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「職員によってバラツキがある」等の声が寄せられた。 | | | | |
| 8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか | 42 | 3 | 2 | 0 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の89.4%で、清掃と整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「とても清潔」等の声が寄せられた。 | | | | |
| 9. 職員の接遇・態度は適切か | 38 | 7 | 2 | 0 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の80.9%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「職員は）挨拶や声かけを、親子共に良くしてくれる」「服装はとても適切だと思ふ」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「一部の先生に言葉遣いが乱暴な方がいる」「中には不適切な入りがいる」とい等の声が寄せられた。 | | | | |
| 10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか | 39 | 4 | 3 | 1 |
| 「はい」と返答した方々は回答者の83.0%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「体調が悪くなったときすぐ連絡をくださり、すぐに迎えに行けない時も安全に預かってもらっている」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「微熱以外の徴候にも、もう少し気を配って欲しい」との声が寄せられた。 | | | | |

| | | | | |
|---|----|----|---|----|
| 11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか | 33 | 8 | 1 | 5 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の70.2%で、子ども同士のトラブルへの対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「親よりもずっと対応がうまいので、信頼している」「スチラジンの保育士が多く、子どもにも納得がいくように対応している」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「年齢のせいもあるが、かみつきが止められない」等の声寄せられた。</p> | | | | |
| 12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか | 39 | 8 | 0 | 0 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の83.0%で、子どもの気持ちを尊重した対応に関して高い満足を得ている。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「職員によります」との声が寄せられた。</p> | | | | |
| 13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか | 36 | 5 | 1 | 5 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の76.6%で、プライバシーの保護に関して概ね満足を得ている。</p> | | | | |
| 14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか | 36 | 11 | 0 | 0 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の76.6%で、保育内容の説明に関して概ね満足を得ている。</p> | | | | |
| 15. 利用者の不満や要望は対応されているか | 30 | 6 | 4 | 7 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の63.8%、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の17.0%であった。</p> | | | | |
| 16. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか | 15 | 8 | 8 | 16 |
| <p>「はい」と返答した方々は回答者の31.9%、「非該当」と返答した方々は回答者の34.0%であった。</p> | | | | |

Ⅰ 組織マネジメント項目 (カテゴリ1～5、7、8)

| No. | 共通評価項目 | | サテライト項目 |
|-----|--|--|---------------------------|
| | カテゴリ1 | | カテゴリ1(1-1) |
| 1 | リーダーシップと意思決定 | サテライト項目1(1-1) | サテライト項目1-毎週の標準項目実施状況 |
| | 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている | | 9 / 9 |
| | 評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している | | 評点(0000) |
| | 評価 | 標準項目 | |
| | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) | <input type="radio"/> 非該当 |
| | 評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている | | 評点(00) |
| | 評価 | 標準項目 | |
| | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている | <input type="radio"/> 非該当 |
| | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している | <input type="radio"/> 非該当 |
| | 評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している | | 評点(000) |
| | 評価 | 標準項目 | |
| | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている | <input type="radio"/> 非該当 |
| | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している | <input type="radio"/> 非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている | <input type="radio"/> 非該当 |

保育理念・保育方針・保育目標を玄関に掲示し、保護者・職員・関係者に周知している

保育理念・保育方針・保育目標を玄関に掲示し、保護者・職員・関係者に周知している。また、各クラスに月案を掲示し、当月の保育のねらいを保護者に周知している。入園説明会・クラス保護者会で、園長より保育目標について説明している。「杉並区立保育園園保育実践方針」を玄関図書コーナーに置き、保護者がいつでも閲覧できるようにしている。事務室にも保育目標を掲示し、職員への意識づけをしている。さらに半期ごとにチャレンジ・プログラムの反省・評価を行う中で、保育目標・基本理念について確認し合っている。

園長は「笑顔」を大切にしたいと運営に努めている

年間指導計画作成時、園長から、保育で大切にしたいことを骨子として示し、それに沿って各クラスの指導計画を作成している。園長は、子ども・保護者・職員の笑顔が広がっていくことを目指して園運営に取り組んでいる。他方、杉並区では、園長・主査・向上リーダー2名が保育の向上促進の4本柱と位置づけ、定期的に向上リーダーが参加する「保育の向上を考えるリーダー会議」を開催し、保育の質向上を図っている。そのほか、杉並区直営園では、職位職種別の横の連絡会も設け、情報交換するなどして保育の方向性を確認し合っている。

園の重要案件は、職員会議(月1回)を中心に検討、決定している

園の重要案件は、昼の定例打ち合せ(週1回)・夜の職員会議(月1回)で検討、決定している。夜の職員会議では、グループ討議などの手法も用い、職員個々の意見をくみ取るようにしている。会議録を事務室に置き、会議に参加できなかった人が確認できるようにしている。会議の欠席者には同じクラスの職員が必ず伝え、情報共有の徹底に努めている。その他、乳児会議(基本月1回、もしくは2か月ごと)・幼児会議(月2回)や、各クラスの会議はゆっくりと時間をかけて、子どもの状況について話し合っている。

2 経営における社会的責任

| | | | | |
|---|--|------------------------|------------------------|-----|
| | | カテゴリ-1(2-1) | サカカテゴリ-1毎の 標準項目実施状況 | 4/4 |
| 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる | | | | |
| 評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している | | | | |
| | | 標準項目 | 評価点(〇〇) | |
| 評価 | 1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している | | 〇 非該当 | |
| | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる | | 〇 非該当 | |
| 評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている | | | | |
| | | 標準項目 | 評価点(〇〇) | |
| 評価 | 1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる | | 〇 非該当 | |
| | 2. 透明性を高めるために、地域の人の目になれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に 関する情報を開示している | | 〇 非該当 | |
| | | サカカテゴリ-2(2-2) | | |
| 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている | | | | |
| | | サカカテゴリ-1毎の 標準項目実施状況 | | 7/7 |
| 評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある | | | | |
| | | 標準項目 | 評価点(〇〇) | |
| 評価 | 1. 事業所の機能や専門性は、利用者にと支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、 個別相談など) | | 〇 非該当 | |
| | 2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師 派遣など)を行っている | | 〇 非該当 | |
| 評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している | | | | |
| | | 標準項目 | 評価点(〇〇〇) | |
| 評価 | 1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している | | 〇 非該当 | |
| | 2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など) | | 〇 非該当 | |
| | 3. ボランティアを利用者のフライバーの尊重やその他の留意事項などを伝えている | | 〇 非該当 | |
| 評価項目3 地域との関係機関との連携を図っている | | | | |
| | | 標準項目 | 評価点(〇〇) | |
| 評価 | 1. 地域との関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している | | 〇 非該当 | |
| | 2. 地域ネットワーク内の共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている | | 〇 非該当 | |

「杉並区立保育園保育実践方針」を職員個々に配布し、確認し合っている
 正規職員の入職時の研修では「公務員倫理」「人権」などについて指導教育している。区が区立保育園の目指す保育や保育士としてのあ
 るべき姿を「杉並区立保育園保育実践方針」に明示し、パート・アルバイトも含めた全職員に配布している。「保育
 課程」の保護者支援の項目にも「子育てが楽しく感じられるよう保護者の気持ちを受け止めながら、寄り添い、共に子育てを考えていく」な
 どを明示し、各種会議・ミーティングなどで確認し合っている。

児童館・小学校と連携し、当園の持つ専門性を地域に還元している
 子育て支援事業として「園庭開放」「行事(運動会)参加」などを実施している。また、児童館の「すくすくタイム」(月1回)に看護師を派遣した
 り、年1回、児童館で保育士が手遊び・パネルシアターをして、児童館の運営に協力している。また、看護師・保育士が近くの小学校に出向
 き、「赤ちゃんとのふれあい授業」の中で、小学生に赤ちゃんへの接し方や赤ちゃんの発達について話をしたり、実施している。そのため、
 その小学校と職員交流の機会を設け、互いに子どもたちの育ちで大切にしていることについて意見交換している。

中学生・高校が、夏のボランティアとして来園し、子どもと遊んでいる

「実習生(ボランティア)の受け入れ」について「J」を用意し、円滑な受け入れを行っている。主査が担当し、活動初日のオリエンテーション活
 動上での注意事項について説明し、その際に口頭で守秘義務について説明している。ボランティアからボランティアを受け入れて
 いるため、同センターで誓約書を交わしている。今年度、夏季のボランティアとして中学生・高校が来園し、子どもと遊んでいる。そのほか、
 中・高生の職場体験・インターンシップ・ボランティアなども受け入れられている。

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

| | | | |
|-------------------------------|---------------|-------------------|-------|
| 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している | サブカテゴリー1(3-1) | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 | 8 / 8 |
|-------------------------------|---------------|-------------------|-------|

評価項目1
利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(〇〇)

| 評価 | | 標準項目 | |
|-----|-----|--|------|
| ●あり | ○なし | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できていることを、利用者に伝えている | ○非該当 |
| ●あり | ○なし | 2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる | ○非該当 |

評価項目2
利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(〇〇〇)

| 評価 | | 標準項目 | |
|-----|-----|--|------|
| ●あり | ○なし | 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり | ○なし | 2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している | ○非該当 |
| ●あり | ○なし | 3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる | ○非該当 |

評価項目3
地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(〇〇〇)

| 評価 | | 標準項目 | |
|-----|-----|--|------|
| ●あり | ○なし | 1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり | ○なし | 2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり | ○なし | 3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している | ○非該当 |

カテゴリー3の講評

連絡帳も活用し、日々保護者とコミュニケーションをとり、要望の把握に努めている

東京都の苦情解決に関するポスターを掲示し、苦情対応について保護者に周知している。入園説明会・各クラスの保護者会でも説明している。保護者に対して、いつでも事務室に気軽に立ち寄ってもらい、意見を言ってもらおうような雰囲気づくりに努めている。連絡帳や日々の保護者とコミュニケーションを通して、保護者の苦情・意向の把握に努めている。連絡帳を使っていない幼児クラスの保護者には「連絡メモ」10枚を配布し、いつでも意見を言ってもらおうようにしている。保護者から連絡メモをもらった際は、各種打合せなどで対応を検討している。

個人面談や保護者会で保護者の要望を把握している

必要に応じて、アンケートを実施し、保護者の意向や要望を把握している。近くの小学校の校庭を借りて運動会を開催した際、お弁当に関してアンケートを実施している。アンケート実施後は、集計分析し、保護者にその結果を配布している。また、保護者との個人面談や保護者会で保護者の要望を把握している。把握した保護者の要望は、各種会議・打ち合せで検討を重ね、できることはすぐに解決できるようにしている。個人面談の前にアンケートを行ない、保護者の要望を把握している。

地域子育てネットワーク連絡会や地域懇談会に参加し、地域ニーズを収集している

児童館、小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会や、区内の認可保育園・認証保育園・杉並区立子供園などの保育園関係者の長が集まる杉並区内保育園施設地域懇談会に参加し、保育に関する情報の共有をしている。近くの児童館に出向き、地域の子育て中の保護者と話をしたり、区発行の各保育園設冊子等の資料を参考にするなどして、地域ニーズを収集している。杉並区保健福祉計画・園長会・幼保小連携担当者連絡協議会への参加や、新聞記事や書籍等で得た情報も確認しながら日々の保育に役立てている。

| | | | |
|---------------------|---------------|-----------------------|-------|
| 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる | サブカテゴリー1(4-1) | サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 | 11/11 |
|---------------------|---------------|-----------------------|-------|

評価項目1
取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点(0000)

| 標準項目 | |
|---|--|
| 評価 | |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 年度単位の計画を策定している |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | |

評価項目2
多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点(0000)

| 標準項目 | |
|---|--|
| 評価 | |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している |

評価項目3
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(0000)

| 標準項目 | |
|---|--|
| 評価 | |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる |

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サナカテゴリー毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | | 標準項目 |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

カテゴリー4の講評

年度初めにチャレンジプランを策定し、その実現に向けて取り組んでいる

区では中長期計画としては、平成27年度から平成31年度(5か年)までの「杉並区保健福祉計画」を策定し、その中で、保育園に関する方向性を示している。また、区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めにチャレンジプラン(組織目標)を策定し、目標を明確化している。さらに目標達成に向け、その実行体制を整え、その実践に向けて取り組んでいる。半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行ない、年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている。

毎年、児童館との合同避難訓練を消防署の協力を得て実施している

避難訓練計画を作成し、月1回、避難訓練を実施している。朝夕や延長保育時・土曜日など様々な時間帯を設定して実施している。毎年、児童館との合同避難訓練を消防署の協力を得て実施している。「自衛消防組織表」に役割分担を明記し、事務室に掲示し、迅速な対応ができるようにしている。訓練後、消防士より訓練の評価、指導を受けている。区所管部署からの不審者情報を受け、必要なものは掲示し、保護者に通知している。毎月、避難訓練の際に、園独自に「安全・防災自主点検表」を使って安全点検している。

区作成の危機管理マニュアルを用意し、それに基づいて対応している

区作成の危機管理マニュアルを用意し、事故発生時の手順を定め、それに基づいて対応している。感染症の情報は、園内に掲示し、保護者に周知したり、玄関入口に手指の消毒剤を置き、感染予防としている。また、看護師が講師となって実践的な嘔吐物処理の研修を実施し、適切な対応ができるようにしている。また、嘔吐物処理一式を各事務室とトイレに置き、迅速に対応し、感染の蔓延防止としている。子どもにも手洗い指導を行い、職員は清掃・消毒の徹底を行っている。ヒヤリハットをポストイットに描いて、冷蔵庫に貼り、職員間で共有化している。

5 職員と組織の能力向上

| | | | |
|---------------|--|-----------------------|-----|
| サブカテゴリー1(5-1) | | サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 | 8/8 |
|---------------|--|-----------------------|-----|

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(000)

| 評価 | | 標準項目 | |
|----------------------------------|----|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> | あり | 1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> | あり | 2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> | あり | 3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2
職員の質の向上に取り組んでいる

評点(00000)

| 評価 | | 標準項目 | |
|----------------------------------|----|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> | あり | 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> | あり | 2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> | あり | 3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> | あり | 4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> | あり | 5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している | <input type="radio"/> 非該当 |

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

サブカテゴリー2(5-2)

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

7/7

評価項目1
職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(000)

| 評価 | | 標準項目 | |
|----------------------------------|----|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> | あり | 1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> | あり | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> | あり | 3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2
職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

| 評価項目 | | 標準項目 |
|---------|---|------|
| 評価 | | |
| ○あり ○なし | 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金・昇進・昇格・賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている | ○非該当 |
| ○あり ○なし | 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる | ○非該当 |
| ○あり ○なし | 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる | ○非該当 |
| ○あり ○なし | 4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる | ○非該当 |

カテゴリー5の講評

「平成27年度区職員人材育成事業実施計画」などで、目指す人材像を明確化している
 「平成27年度区職員人材育成事業実施計画」などで、目指す人材像を明確化している。「チャレンジプラン」(目標達成チェックシート)を使って、年2回以上の上司との面談を行い、個々の仕事目標や目標への達成度を振り返り、未達成の課題の状況把握や原因究明に努めている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をしている。人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。園児の状況などを考慮し、ミーティングなどで話し合い、職員配置(クラス担任)を決めている。

職員育成は、区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで行なっている

職員育成は、区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで行なっている。区保育課主催の「実務研修計画」は、研修目標を明確化し、研修内容は充実している。研修参加後は、職員会議や屋ミーティングで研修報告を行い、レジュメを閲覧し、職員間で共有しているが、全職員で声をかけ、アドバイスをしながら、同じチームの一人として大切に育てている。

ノー残業を週1回設け、残業削減に取り組んでいる

園長は、職員の頑張ったところを言葉で誉め、職員個々の力を発揮してもらうよう努めている。夏休み5日間は必ず取得している。残業はなるべく避け、メリハリつけて仕事をしよう奨励している。残業はクラス打ち合わせや職員会議のみで、それ以外の残業は殆どない状況である。常勤職員の平均年齢43歳である。常勤職員は20歳代から50歳代までと各世代バランスよく構成されている。パート・アルバイトは、60歳代・40歳代が多い。職員一人ひとりが力を発揮して園運営を支えている。

カテゴリー7

7 情報の保護・共有

| | | | |
|-----------------|---------------|-------------------|-----|
| 情報の保護・共有に取組んでいる | サブカテゴリー1(7-1) | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 | 7/7 |
|-----------------|---------------|-------------------|-----|

評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(0000)

| 評価 | 標準項目 | |
|---|--|---------------------------|
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2 個人情報情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(0000)

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---------------------------|
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 開示請求に対する対応方法を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている | <input type="radio"/> 非該当 |

カテゴリー7の講評

区で定めた文書保管期間に基づき、記録類の管理を行っている

杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。パソコンを使用しない時は鍵のかかる書棚・机の引き出しに入れ、事務室に誰もいない時は施錠して出かけている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。基本的にUSBメモリーは圏外持出禁止である。個人情報や鍵の取り扱いには十分に注意し、書庫などの鍵の取扱者を限定している。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行い、記録類の管理を行っている。

区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている

杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている。また情報収集の目的・使用範囲などを明示し、個人情報の漏洩等の事故がないよう、その取り扱いに関して注意を徹底している。そのため、定期的に全職員で保育記録に関する情報管理の方法や危機管理について話し合いを行い、注意喚起を促している。保育記録の閲覧を希望する際は「閲覧等申出書」を提出すれば可能である。「保育記録の保護者閲覧の流れ(手順書)」を作成し、「保育記録閲覧記録簿」も用意し、適切な対応ができるようになっている。

入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している

正期職員に対して、入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している。パート・アルバイト等の非常勤職員に対しては、「区立保育園で働くにあたって文書を配布し、「仕事をしていく上で知り得たことは、絶対外部へ漏らさないで下さい」との文面を確認している。実習生・体験学習・ボランティアなどの受け入れにあたっては、受入手順書を作成し、活動初日のオリエンテーションの中で、園長・主査が活動中に知り得た個人情報について活動中・活動後も第三者に漏らさないことを説明している。

サチカテゴリー1(8-1)
 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

| | |
|--|---|
| 評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」 | ● 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている ○ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない ○ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない |
|--|---|

改善の成果

入園説明会ではポイントを活用し、保護者にわかりやすく説明している

・今年度、入園説明会ではポイントを活用し、園の様子についてわかりやすく説明できるよう工夫している。また、「大宮保育園のご利用にあたってし」を作成し、園方針の理解の浸透を図っている。
 ・年度初めの職員会議では、職員個々が何に取り組んでいくのかについて話しもらい、保育の方向性を確認し合っている。
 ・年2回、区内の認可保育園・認証保育所・杉並区立子供園などの保育関係施設の長が集まる杉並区内保育施設地域懇談会に参加し、地域の保育施設が互いに顔見知りになり、情報交換をし、保育の質向上を図っている。

サチカテゴリー2(8-2)
 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

| | |
|--|---|
| 評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」 | ● 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている ○ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない ○ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない |
|--|---|

改善の成果

若手職員同士で自由な意見をしてもらい、職員個々の活性化に努めている

・職員会議の中で、保育経験が年未滿の経験の浅い職員同士が、日ごろの保育について振り返る機会を持ち、自由に意見交換し、気づきを得て、主体的に働ける職員を育成している。また、事例検討の場を設定し、今年度は、食育環境について検討している。事例検討を通して、職員間で共通認識を持ち、より良い保育につなげている。
 ・園長・主査は参加せず、若手職員同士で日ごろの保育の中の悩みなどを話し合う場を設定し、自由な意見交換の場とするなどして職員個々の活性化に努めている。

サチカテゴリー3(8-3)
 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

| | |
|---|---|
| 評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」 | ● 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている ○ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない ○ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない |
|---|---|

改善の成果

年間保育計画を保護者に伝え、月案を掲示し、保護者との共育に取り組んでいる

・保育課程の「保護者との情報共有」の項目に、「家庭と保護者と子どもの育ちを伝え合いながら共育をしていく」ことを挙げています。取り組みの内容として、年間保育計画を保護者に伝え、毎月初めに月案を掲示し、クラスだより等の発行、保育日誌の開示などとしています。月案を掲示する際には、保護者に関心をもってもらいたい、知ってもらいたい取り組みについては、カラーのアイコンを引く、吹き出しでコメントを入れる等の方法で見え目にも分かりやすく、読みやすく、保護者との共育に取り組んでいる。

事業所の財政等において向上している

評価項目1
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

公設民営化によるコスト削減に取り組みとともに、保育料収納率の向上に取り組んでいる

・給食調理用業務業務の委託や指定管理制度による保育園の公設民営化によるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率の向上に取り組んでおり、杉並区立園全体で、指定管理制度を5園に導入し、調理用業務委託についても平成27年度現在で24園で実施している。また保育料の収納率については平成28年度で97.989%(対前年比0.34%増)となっている。

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

アンケートを実施し、保護者の意向や要望を把握し、改善につなげている

・必要に応じて、アンケートを実施し、保護者の意向や要望を把握している。近くの小学校の校庭を借りて運動会を開催した際、お弁当に關してアンケートを実施している。アンケート実施後は、集計分析し、保護者にその結果を配布している。また、保護者との個人面談や保護者会で保護者の要望を把握している。その把握した保護者の要望は、各種会議・打ち合わせで検討を重ね、できることはすぐに解決できるように努めている。個人面談の開催前にアンケートを行ない、保護者の要望を把握している。

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点(〇〇〇)

| 標準項目 | |
|--|--|
| 評価 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている |

サブカテゴリー2の講評

「保育園のしおり」などを基に保育目標や園生活のルールなどを説明している

3月末の土曜日の午前中に説明会を実施している。ホールに集まってもらい、「大宮保育園のしおり」や「大宮保育園をご利用に当たって(重要なお知らせ)」を基に説明したり、パソコンポイントを使って保育園で過ごす子どもの様子を写真などで見てもらっている。保育目標や年間行事予定等の園全般については園長が説明し、緊急対応や災害時の対応などは主査、健康面については看護師が伝えている。その後、担任が保育室に案内し、朝の荷物置き場などを知らせたりしている。0歳児クラスでは保護者同士の自己紹介なども行っている。

2月に健康診断と面接を実施して個別の事情や保護者の要望を把握している

入園が内定した2月の段階で、健康診断と面接を実施している。事前に渡して記入してもらっている「入園までの生活状況」や健康に関する記録を持参してもらい、平日のお昼頃に親子で来園し園医による健康診断、身体計測を実施している。健康面の聴き取りは看護師が行い、「入園までの生活状況」に関しては保育士が聴き取りをしている。園長は、保育時間、家庭の事情、お迎えの時間などについて面接している。面接日に都合が悪い場合や、在園児の兄弟などには別日で対応している。

初日は子どもと一緒に過ごしてもらい、個々に応じて徐々に保育時間を延ばしている

面接の際に、慣れるまでの保育について説明をしている。0歳児については、登園初日はクラスで子どもと一緒に過ごして保育園の様子を知ってもらったり、保護者の子どもを抱き方や食事の食べさせ方などの接し方について見せてもらい、保育の参考になっている。初日は午前中、2日目からは保護者の仕事復帰の状況や意向、子どもの慣れ具合により、短時間から徐々に保育時間を長くしている。おおよそ1週間くらいを目安にしている。集団保育の経験がある子どもや幼児の場合は、初日は午前中であるが翌日から通常保育時間で預かっている。

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 12/12

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場ごとに明示している

評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2
子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

| 評価 | | 標準項目 |
|-----|-----|--|
| ○あり | ○なし | 1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している |
| ○あり | ○なし | 2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている |
| ○あり | ○なし | 3. 計画を保護者にわかりやすく説明している |
| ○あり | ○なし | 4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたとうえで、必要に応じて見直ししている |
| ○あり | ○なし | 5. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している |

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

| 評価 | | 標準項目 |
|-----|-----|---|
| ○あり | ○なし | 1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある |
| ○あり | ○なし | 2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している |

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

| 評価 | | 標準項目 |
|-----|-----|---|
| ○あり | ○なし | 1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している |
| ○あり | ○なし | 2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している |

サブカテゴリ3の講評

子どもの心身状況を把握して日誌や連絡帳、児童票などに記録している

登園時には保育士や看護師による観察、保護者からの連絡帳や口頭による情報で子どもの健康状態を把握している。日中の保育活動の様子を保育日誌や連絡帳に、疾病や月1回の身体測定や年2回の健康診断結果等を看護師は保健日誌に記録し、さらに必要情報は児童票に記載している。年に10回以上実施している個人面談の際は、事前に家庭における子どもの姿と保護者の思い等を各クラスでアンケートをとり、それを基に個人面談を実施している。個人面談記録も児童票に記載している。

月案は担任同士でクラスの保育を振り返り次月の計画を作成し、職員間で共有している

月間指導計画(月案)はクラス打ち合わせを行い、子どもの姿やクラスの状況を担任同士が振り返り、次月の計画を作成している。0・1・2歳児は個別指導計画も作成している。幼児組は半期の反省時や3か月ごとの児童票記入の際に、個別の子どもの状況について話し合っている。月案は職員全員に配布し、カリキュラム検討会議を月始めの昼間に2日間で行い、各クラスの現状や子どもの様子、今月取り組みたいことなどについて報告し意見交換している。月案は各クラス前の廊下に掲示しており、5歳児は今週の活動内容も掲示している。

様々な会議を開催し、子どもの状況に関する情報を共有している

毎日14時から15分程度の屋のミーティングを行い、各クラス代表、看護師、調理、用務、園長、主査が参加して、翌日の体制、連絡事項などを伝え合っている。各クラスノートを作り、参加者がクラスに漏れなく伝え情報共有を図っている。週1回の定例会議は14時から実施し、午睡当番を除いて参加可能な者は参加して、行事の確認、研修報告、園長会報告やミーティングで発表された計画が必要な事項を話し合っている。職員会議は月1回17時15分から実施し、年間指導計画や半期の反省、事例検討など保育向上のための会議をしている。

5
サブカテゴリーの保護等個人の尊厳の尊重
評価項目1
子どものサブカテゴリー保護を徹底している

評価(〇〇)

| 標準項目 | |
|---------|---|
| 評価 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている 2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている |
| ●あり ○なし | |

評価項目2
サブカテゴリーの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評価(〇〇〇〇〇)

| 標準項目 | |
|---------|---|
| 評価 | |
| ●あり ○なし | 1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している |
| ●あり ○なし | 2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている |
| ●あり ○なし | 3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている |
| ●あり ○なし | 4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している |
| ●あり ○なし | 5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている |

サブカテゴリー5の講評

入園説明会などで個人情報取り扱いについて説明している
入園説明会において、「大宮保育園のご利用にあたって(重要なお知らせ)」を基に、個人情報の取り扱いについて守秘義務の徹底を説明している。「保育園での子ども撮影や写真撮影について」の文書で、個人情報や防犯の観点から撮影には一定の制限を設けている旨伝え、保育所児童保育要録については4歳児の保護者会で説明している。

保護者の思いや考えにできるだけ沿って柔軟に対応している

保護者の思いや生活習慣については、園で受けられるものについては寄り添い、配慮している。夏の戸外活動や散歩などには日焼け防止のためや虫刺され予防のために長袖を着せて欲しいと要望される場合にはそれに応じている。ボール遊びには「ラジエガードを着せて欲しい」との要望も受け入れている。また、虫よけスプレーなど、「この製品でお願いします」との要望も受け入れている。決まった保育時間はあっても、習い事などで早めの時間でお迎えに来るなども受け入れている。

保育者の食事介助の仕方を職員同士が振り返り、強制的になっていないか検討している

職員会議において、保育者同士で気になっていた「食事の介助時の保育者の対応」について話し合う機会をもっている。保育場面を振り返り、食事介助では子どもに食べてもらいたいという保育者の思いが強すぎる場合があることを反省する声が出されたことから、子どもが楽しくおいしく食べるための食事のねらいであることを確認し合っている。保育者自身の食事介助の仕方に対して、子どもになったつもりで思いを発言する方法で振り返り、声の出し方や話しかけ方などが、強制になっていないかどうかとお互いに意見を出しあって検討している。

| 標準項目 | | 評価 |
|---|--|---|
| 評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(○○○) | | |
| 標準項目 | | 評価 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> なし | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している | <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(○○○) | | |
| 標準項目 | | 評価 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> なし | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子ども様子の様子を反映するようにしている 3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目3 ささまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している 評点(○○○○○) | | |
| 標準項目 | | 評価 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> なし | 1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている 2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している 3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている 4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している 5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている | <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | | <input type="radio"/> 非該当 |

区立園共通の「危機管理マニュアル」の他にも、園独自のマニュアルを作成している区で作成している共通の「危機管理マニュアル」を整備している。園独自のマニュアルとして、施設の特徴を反映させた「防犯マニュアル」や業務関係の「当番の仕事一覧表」「朝・夕・延長パート仕事分担表」、保育関係の手引き「アレルギー児への食事提供について」「園庭遊びの約束」などを作成している。これらのマニュアル・手引き類は職員がいつでも見ることできるように置いて、必要に応じて活用している。

業務水準の向上のためにマニュアル類は必要に応じて見直している

園のマニュアル類は、年度末反省や前期反省などに必要な検討を行い、見直している。しかし、子どもの朝夕保育人数の増減による子ども数の状態の変化や職員の意見や提案などから、朝夕保育・延長保育のパートの仕事の手順や当番の仕事手順を見直す必要があると判断した場合には、その新年度職員会議で検討して見直し、マニュアル類も差し替えを行っている。見直した手順に関する関係職員間の情報の共有を徹底している。

小さな怪我は日誌に記録し、事故に至らなかった危険はヒヤリハット記録を付けている

保育中に転んだりすりむいたりした小さな怪我は朝夕日誌に記録して職員間で共有し、保護者に伝えている。保健日誌にも処置の記録を付けている。事故には至らなかった危険を糊つき付箋に書き、ヒヤリハットボードに貼っている。ヒヤリハットボードは休憩室の冷蔵庫に取り付け、気づいた時にすぐに書き捨てるようにしている。散歩は行先や人数などの届を出して出かけ、帰園後も報告をしているが、行先のパネルを出る際にも人数確認して園に電話を入れている。散歩に出る際には、職員は緊急事態対応のためのカードを持って出かけている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サブカテゴリー4

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 37/37

| | | | |
|---------------------------------------|--|----------|--|
| 1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている | | 評価項目1の講評 | |
| 評価 | | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている | ○非該当 | |

| | | | |
|---------------------------------------|---|----------|--|
| 2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている | | 評価項目2の講評 | |
| 評価 | | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている | ○非該当 | |

| | | | |
|---------------------------------------|---|----------|--|
| 2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている | | 評価項目2の講評 | |
| 評価 | | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている | ○非該当 | |

評価項目2の講評

保護者からの情報を朝夕ノートに記載して情報共有している
 毎朝の受け入れ時には挨拶をして、子どもの家庭での状態を保護者に直接確認している。乳児組は連絡帳を使用しており、登園時には保護者から連絡帳を手渡ししてもらっている。朝保育の当番や担任は連絡帳に記入してあることで気になることがあれば覗き取るようにしている。保護者からの情報を各クラスの朝夕保育ノートに記入している。朝保育の当番とクラス担任との引き継ぎは朝夕保育ノートを基に行っている。

一人ひとりの発達に応じて、やってみようとする子どもの気持ちを大事にして進めている

第1回の保護者会で、子どもの姿を伝える際に、食事や排せつ、着脱などの生活習慣を身に付けるための園の考え方や進め方について、例えば、1歳児では「自分でやってみようとする気持ちを大事にし、繰り返し経験する中で身の回りのことに少しずつ興味を持つようになっている」と説明している。トイレトレーニングなどは保護者の意向も確認し一緒に進めている。月1回発行の保健だよりで、食事、生活リズム、睡眠など生活習慣を身に付けることの大切さについて知らせている。給食だよりでも生活リズムを整えることの大切さを伝えている。

家庭との連絡のやり取りに幼児組は「家庭より」のペーパーを用意している

幼児は連絡帳を使用していないため、担任が口頭で伝えられない場合や必ず伝えたい場合には、「保育園より」のペーパーを用意している。保護者向けには年度初めに、「家庭より」のペーパーを各10枚配布して、不足した場合に使うてくださいますとクラスの前下に置いている。「家庭より」で伝言をもらった場合は必ず「保育園より」のペーパー、もしくは口頭により必ず応えている。これらのペーパーは子どもが毎日持参するお便り入れにバックに入れて持ち帰らせている。必要に応じて保護者とのやり取りを記録するノートも使用している。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ◎あり ○なし | 1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している | ○非該当 |
| ◎あり ○なし | 4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じることができるような視点を取り入れている | ○非該当 |

評価項目3の講評

子どもの遊びが細切れにならないように意識して遊ばせている

朝登園後8時30分からはクラス保育になり、雨天の日を除いて、園庭で身体を動かして遊ぶように促している。遊びが細切れにならないようにおおよそ90分程度を意識してたっぷり遊んだ後で集まりをしている。乳児組も朝のおやつが終わると、それぞれ3グループに分かれて少人数で遊んでおり、保育室や園庭だけでなく、廊下やホール、テラスなども活用している。4・5歳児の場合などは子どもの活動の状況によって調理室に連絡して昼食の時間を後ろにずらすなどしている。

幼児クラスは事前に行事や活動予定を知らせて、主体的に遊べるようにしている

子どもが主体的に遊べるように、普段から明日の活動を子どもに話しておくようにしている。そうすることで、子どもは「今日は～するんだ」と生活の見通しを持って園に来るようになっていく。お店屋さんごっこをする時などは、自分たちのお店屋は何にするのか、お店屋で何を売っているのかなど子ども同士が話し合っている。5歳児は12月の保護者会の後に成長を見てもらう時間を設けているが、お母さんたちに喜んでもらえるには何をしようかと話し合っているが、子どもたちからはレストランをして、ご馳走でもてなしたいなどの意見が出てきている。

身近に自然物を取り入れ、飾ったり触れたり遊んだりして季節の変化に気づかせている

園の周辺地域は広い都立公園などがあり、自然に恵まれている。週に2回程度は散歩を取り入れられている。四季折々の草花や木の葉、虫や蝶、霜柱なども見かけたり触れたりしやすい環境であり、子どもたちには着付けし気づかせるようにしている。保育室内には、観葉植物やオシロイバナ、風船カズラの種なども断って置いてある。散歩先で拾ったどんぐりや木の葉、木の枝で置物を作ったり、室内装飾に利用したりしている。園庭にも季節の花や野菜を栽培して、季節の変化を感じ取れるようにしている。

4 評価項目4

行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---|--|---------------------------|
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目4の講評

運動会・緑日ごっこでは子ども大人も一緒に楽しんでいる

行事は子どもにとって大きくなるステップであり、保護者に日ごろの保育を伝え、共に喜び合える機会であると考えている。行事は参加対象年齢を考えて実施しているが、運動会は3歳以上の参加にしており、10月の土曜日、地域の小学校の校庭を借りて実施している。0～2歳児は自由参加にして、乳児用の種目を用意している。緑日ごっこは5歳児が踊りを披露し、ヨーヨー釣りや的当て、ワニ叩きなど大人が提供するゲームで保護者と一緒に楽しんでもらい、みんなで盛り盛りもしている。

年間行事予定表を新年度早々に配布し、行事のおたよりを発行している

年間行事予定は4月早々に保護者に配布して、予定してもらおうようにしている。保護者参加の行事は運動会と緑日ごっこである。運動会に向けては「運動会ニュース」を発行している。第1号は会場案内や雨天の時のこと、第2号には注意事項や保護者競技の説明、第3号には運動会の子どもの種目の見どころを紹介したりしている。その他、遠足などのお弁当作りや登園時間などでお願ひしなけれはならないことが多い行事については、「遠足のお知らせ」などを早めに配布して協力をお願いしている。

地域の親子や卒園児が行事などに参加し、近隣の保育園と3園交流をしている

運動会には兄弟関係や卒園児などの小学生の参加がある。地域ネットワークニュースに掲載し、園のウェブサイトや門付近に子どもたちが作成したポスターを掲示しているので、地域の乳幼児の親子の参加も得られている。緑日ごっこには3月に卒園した子どもたちに手紙を出して招待している。父母会主催の人形劇鑑賞には、近隣の私立保育園の園児にも声を掛けて一緒に鑑賞している。5歳児は近隣の3保育園の5歳児と一緒に遊ぶ3園交流をしている。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---|--|---------------------------|
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目5の講評

延長時間はゆったりとした雰囲気の中で過ごせるように工夫している
 0〜3歳児は8時30分までは各クラスで保育をしている。延長保育は現在定員18名のところ、登録児は10名であり、常時スポット保育の利用が可能な状況である。0・1歳児は補食を食べた後、2歳児室の延長保育へ合流している。2歳児室は遊びのコーナーが分かれており、好きな場所を思いのまま過ごせるようにしている。いつも同じ顔ぶれの夕保育パート職員は子どもと信頼関係ができており、安心して寄り添ったり絵本を読んでもらったり一緒に遊んでもらったりしている。4・5歳児向けの延長保育用おもちゃも用意している。

朝夕ノートや延長保育日誌で夕保育・延長保育当番と引き継いでいる
 担任は各クラスの朝夕ノートの保育園からの欄に保護者へ連絡する事項(発熱や怪我、持ち物など)を記入して、夕保育当番に引き継いでいる。延長保育日誌にも、朝夕ノートに書いている内容を書き入れている。延長保育日誌には、食物アレルギーの対象児のアレルギーについて、朝夕保育の流れ、注意が必要な疾患について、延長スポット利用のルール、延長保育時の緊急マニュアル、与薬対象児について、医療機関についてなどのマニュアル類を一緒に綴じ込み、必要な時にすぐに見ることができるようになっている。

お迎えの際には担任からの連絡事項と共に子どもの様子を伝ええている

夕保育や延長保育の当番は、お迎えの保護者に対して「お帰りをさいの挨拶の後、クラス担任からの連絡事項を伝えるとともに、見ている子どもの様子も伝えていく。当番が担任であれば日中の様子を伝えるが、そうでない場合は夕保育や延長保育での様子を伝えることとしている。保護者への連絡は正規の職員が対応している。

6 評価項目6
 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|-----------|---|-------|
| ◎ あり ○ なし | 1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している | ○ 非該当 |
| ◎ あり ○ なし | 2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている | ○ 非該当 |
| ◎ あり ○ なし | 3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している | ○ 非該当 |
| ◎ あり ○ なし | 4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている | ○ 非該当 |
| ◎ あり ○ なし | 5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている | ○ 非該当 |

評価項目6の講評

食事のテーブルの場所や席を決めて、安定した椅子を使って落ち着いて食事をしている

食事のテーブルの場所や子どもたちの座る席は決まっており、乳児は安定した木製の椅子を使用している。乳児組は緩やかな担当制を取っており、子どもたちの発達を考えたグループの席で、決まった友達と一緒に保育者についてもいらしながら食べている。給食献立は区立園共通の2週間のサイクルメニューであり、区の栄養士が健康、栄養のパランス、嗜好や季節感、子どもたちの喫食状況などを考慮して作成して、園で調理している。伝統行事などに合わせて、七夕会食、冬のパーティー会食、ひな祭り会食などを実施している。

野菜の栽培や食材に触れる調理の手伝い、調理などの食育活動をしている

夏野菜のトマト、ナス、オクラ、さといも、枝豆などをプランターに植え、子どもたちが水やりをして観察し、花が咲き、実がなるのを楽しみにしている。収穫して子どもたちの目の前で切ったり、調理したりして給食で食べている。4・5歳児はそら豆やグリーンピースのさやむき、枝豆のもぎ取り、トウモロコシの皮むき等の調理の手伝い活動をしている。調理活動としてはおにぎり作りやクッキー作りをしている。栄養士や調理職員は日常的に配膳の手伝いをしたり、喫食状況を見に来たりしてクラスに来てくれ、食材の話やメニューについて話してくれている。

園の食育の取り組みを写真で紹介して保護者に伝えている

玄関には給食献立表と幼児食、0歳児室には離乳食を展示している。給食食材の放射能検査も実施している。区立園共通の給食日より献立表を毎月配布している。給食の簡単なレシピも持ち帰り自由に置いていく。園では、各クラスの野菜の栽培や調理等の子どもたちが取り組んでいる食育活動の様子を写真にとり、クラスだよりに掲載したり、毎日貼り出している保育日誌などで、保護者に様子を伝えている。給食で食べたスライカの種を蒔いて、育てた時の様子や子どもたちの反応などをパネルにして貼り、見てもらっている。

7 評価項目7
子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている

評点(000)

| 評価項目 | | 標準項目 | 評価 |
|------|--|---|--|
| | | 1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当 |
| | | 2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づき支援を行っている | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当 |
| | | 3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目7の講評

子ども自身が自分の身体や病気の予防、怪我の防止に関心をもてるように伝えている

子どもが自分の身体に関心をもち、変化に気づいてそれを表現できることを目指している。「虫歯にならないために」歯磨きの仕方の指導をしたり、「水遊びの前に」事故がないように、「してはいけないことを話したり」「手洗いやがいがい」どうなっているのかな、体の中「などを担任と連携して時間を作り、指導している。また、廊下を走ってぶつかってしまった時などに、起きてしまった事故を基にその都度子どもに危険なことの話をしている。散歩に行く際にも、事前に通路を歩く時の交通ルールや公園での危険について伝えてから、出かけている。

慢性疾患など、保育園で薬を飲ませる必要があると判断された場合にのみ与薬している

常時医療的ケアが必要な子どもは在籍していない。保育園では薬を飲ませる等の対応はしていないが、慢性疾患で園での対応が必要である場合にのみ、医師の指示書、与薬申し込み書を提出してもらい薬を預かっている。現在、熱性けいれんの処方薬、アトピー性皮膚炎等のぬり薬を預かっている。子どもの健康に関することで相談したいことは、週1回の0歳児の健診に来園している園医に、相談したり助言をもらったりしている。

感染症の予防や乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する情報を保護者に提供している

「ほけんだより(月1回)に先月の園での感染症発生状況や今月の保健行事、健康に通ごすため知恵などを掲載して、情報を提供している。園で感染症が発生した場合には、速やかに各クラスの廊下等に「感染症発生」についてのお知らせを掲示し、注意喚起をしている。保健所や区役所等からの感染症流行のお知らせやポスターなども掲示している。乳幼児突然死症候群(SIDS)については入園説明会で説明し、園の対応として、できるだけうつ伏せに寝せないことや0歳児は5分おき、1歳児は10分おきに午睡チェック表に記載していることを伝えている。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(00000)

| 評価項目 | | 標準項目 | 評価 |
|------|--|---|--|
| | | 1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当 |
| | | 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当 |
| | | 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当 |
| | | 4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当 |
| | | 5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている | <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目8の講評

保護者の就労や家庭の事情などに配慮して支援している
 保育園の利用曜日と時間はあらかじめ、勤務時間と通勤時間や職務の事情などを基に決めていますが、保護者の急な残業や仕事の状況に応じて、スポット保育や土曜日保育を受け入れられている。保護者自身や家族が病気など、家庭の状況で困ったことなどがある場合にも相談に応じている。

父母会活動が盛んに行われて保護者同士交流しているので、園も協力している

当園の父母会があり、年数回交流会が行われている。園も父母会の活動に協力している。保護者会の日には保育を実施しているので、保護者同士は午前中ランチ会をするなどして交流している。園の保護者会後の時間は子どもがおやつを食べている時間であり、おやつ終了まで待ってもらう時間を父母会の連絡会の時間に提供している。父母会主催の人形劇観劇会や音楽会も、保育時間内に行えるように事前打ち合わせに協力している。

保護者と情報の共有を図るために、様々な取り組みを工夫している

保育課程の中に「保護者との情報共有」の項目を作り、保育園の取り組みを保護者に伝え、理解してもらい協力しながら子育てをしていく内容が盛り込まれている。日々の運動帳や連絡メモ、口頭等で保護者からの意見を聴いている。年2回の保護者会と1回以上の個人面談、オンラインタイムサービスの機会にも要望などを受けている。その他、毎月の園だより以外に、園長から保護者の皆様へという「おみやだより」を発行しており、運動会のお弁当タイムへの保護者の意見を聞く等、園の具体的な保育を保護者に伝える取り組みをしている。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(○○○)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている | ○非該当 |

評価項目9の講評

児童館の子育て支援事業への協力や園庭開放、子育て相談を行っている

園庭開放「大宮ひろば」をしているが利用者は少ない。併設の児童館が主催している子育て支援事業「すくすくタイム」に来ている子どもは低年齢で、園庭遊びより室内での遊びを求めている様子である。児童館の「すくすくタイム」には月1回、看護師が身体測定や子育て相談、季節の健康教室を行っている。保育士も、手遊びやパネルシアターを見せるなどして関わっている。散歩先で出会った親子と一緒に遊びながら、母親からの子育て相談を受けることもあり、対応している。

地域の小学校の「赤ちゃんとのおふれあい授業」に協力している

地域の小学校が年間6回実施している5年生対象の「赤ちゃんとのおふれあい授業」への協力をしている。「赤ちゃんとのおふれあい授業」は、地域の赤ちゃんとお母さんが授業に来てくれて5年生と関わる内容である。その授業の1コマ「赤ちゃんとのお話し方を知ろう」を保育園で担っており、その他の回にも、看護師と園長または主査が参加して5年生が赤ちゃんとおふれあう時に助言や援助などをしている。

年間反省会で反省や今後の取り組みについて検討している

毎年、年間反省時に反省と今後の取り組みの検討をしている。近隣には公園が多く、児童館を併設していることもあり園庭開放への参加者は少ない。今後は、園でできる子育て支援のニーズを探るなど他の方法を模索していきたいと考えている。

| | |
|--------------------|--|
| 事業者が特に力を入れている取り組み① | |
| 評価項目 | 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している |
| タイトル① | 食育活動の一環である野菜の栽培を写真を使って保護者に分かりやすく伝えしている 野菜では玉ねぎ、さといも、人参などもプランターで栽培し、中庭の畑にはサツインモやジャガインモを植えている。野菜の栽培では、子どもたちが水やりをしながら観察している様子や、プロットコーの葉を全部虫に食べられたり、育ってきた茄子をカラスにつつかれるなどの苦労語も保護者に伝えている。廊下には、「糶」や「スイカ」を栽培した時の子どもたちの反応「何の野菜だろう」と興味を示している様子、芽が出て枝葉が伸び、花が咲き、結実して収穫するまでを写真で紹介しているパネルが貼っており、保護者も興味をもち楽しみに見ている。 |
| 内容① | |

| | |
|--------------------|---|
| 事業者が特に力を入れている取り組み② | |
| 評価項目 | 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集・分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している |
| タイトル② | 事前に子どもの発達過程に応じた内容のアンケートをとり、個人面談を実施している |
| 内容② | 保育参観・個人面談の申し出はいつでも受け付けているが、期間を設定した個人面談も実施して、園児一人に付き年間1回以上行っている。個人面談の折には、クラスの子どもの発達過程に応じた内容のアンケートを作成し、事前に配布し回答してもらったうえで面接をしている。子育てに対する考え方、家庭での子どもの様子、休日の子どもとの過ごし方、困っていることや悩んでいることなどである。これらは、児童票の個人面談記録と一緒に綴じて保育の参考としている。 |

| | |
|--------------------|--|
| 事業者が特に力を入れている取り組み③ | |
| 評価項目 | 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている |
| タイトル③ | テイクタイムサービスを実施し、保護者に一息ついてもらい、交流の場に行っている |
| 内容③ | 2か月に1回、テイクタイムサービスを実施している。16時45分から19時35分に3歳児室を会場にしている。麦茶や紅茶を提供しているが、お迎え時によつて一息入れてもらいたい、園での子ども様子を写真などで紹介して見ってもらうから、子どもを引き取ってもらっている。先を急ぐ人や忙しくゆっくりにできない人向けには玄関にテイクサービスコーナーを設けて、自由に飲んでもらっている。見てもらう物は、子どものお気に入りのおもちゃ、戸外遊びの様子、散歩の紹介、絵本などでサービスを決めて用意し、見られない人のために数日間掲示している。 |

| | |
|---------|---|
| No. | 特に良いと思う点 |
| タイトル | 自然どのかかわりを生かした保育(散歩、栽培、飼育、装飾など)に取り組んでいる |
| 1 内容 | 園の周辺には川の両岸に広がる自然豊かな都立公園があり、探検をしたり花を摘んだり、木の葉でままごをしたり、鬼ごっこなどで走りまわり遊ぶ場所が多く、週2回程度は散歩に出かけている。保育室内にも、植物や自然物を利用した装飾を取り入れられている。アゲハの飼育等をして、クローゼット、黄アゲハが幼虫から蛹、蝶へと変化する様子を観察したりして、蛹になる前はご飯(みかんの葉)を食べない様子を見て、「死んじゃうんじゃないかい」などと心配したり、蝶になって大空に飛び去る様子を見送る等の経験をしている。 |
| タイトル | 乳児組は、少人数グループによる保育を行い、個々の子どもの安定した保育園生活を保障している |
| 2 内容 | 乳児組では、集団生活であっても、子どもの情緒の安定のため、子ども同士の必要以上のトラブルを生まないため、一人ひとりの子どもの要求を保育者が直接感じてすぐに伝えられるように、なるべく小集団の保育を行っている。3グループに分かれて、保育室内で遊ぶ、廊下のスペースで遊ぶ、園庭で遊ぶなどで遊んでいる。遊びから帰る、着替えや排泄、手洗い、食事などの一連の生活の流れも少人数であることから、子どもの要求を受け止めやすく、個々の子どもの発達段階や個性に合わせた対応をすることができている。 |
| タイトル | 月案掲示の際、見て欲しい個所にアンダーラインを入れる等して見やすい工夫をしている |
| 3 内容 | 保育課程の「保護者との情報共有」の項目に、「家庭と保護者と子どもの育ちを伝え合いながら子育てをしていく」ことを挙げ、取り組みの内容として、年間保育計画を保護者に伝え、毎月初めに月案を掲示し、クラスだより等の発行、保育日誌の開示などとしている。月案を掲示する際には、保護者に関心をもってもらいたい、知ってもらいたい取り組みについては、カラーのアンダーラインを引く、吹き出しでコメントを入れる等の方法で見たい目にも分かりやすく、読みやすくして、担任の思いを伝える月案の掲示になっている。 |
| No. | さらなる改善が望まれる点 |
| タイトル | 保育計画の開示などを検討し、より一層保護者との共育での推進を期待する |
| 1 内容 | 保育課程に「家庭と保護者と子どもの育ちを伝え合いながら子育てをしていく」ことを挙げ、第1回の保護者会ではクラスの保育目標や1年間大事にしていきたいことを伝えている。毎月初めに各クラスの廊下に月案を掲示し、幼児組では子どもに明日の活動を口頭で知らせて見通しを持たせるようにしており、年長組は週案(今週の予定)を掲示している。今後は、全クラスが週案などの保育情報掲示を検討するなど、より一層保護者との共育を推進することを期待する。 |
| タイトル | 公立園として、今まで以上に地域に役立つよう、園独自の子育て支援事業の再構築を期待する |
| 2 内容 | 保育課程の保育園の目標には「地域の子育て支援を担う保育園」を掲げているが、現在は併設の児童館の子育て支援事業への看護師や保育士の協力と地域の小学校の授業への協力をしている。園の事業「園庭開放」は門の外などにポスターを掲示しているが、利用者数が少ない状態であり、地域子育て支援の他の方法を模索している。今後も地域に役立つ園になるために、保育園の環境や専門のノウハウを生かせる支援内容の検討や地域のニーズ把握などをして、園独自の地域の子育て支援の再構築を期待する。 |
| タイトル | 効率的効果的な会議運営に向けて、より一層の取り組みを期待したい |
| 3 内容 | 職員アンケートでは「職員と組織の能力向上」に関して、他評価項目と比較してリーダー層・一般職員とも自己評価が低く、職員が改善の必要性を認識していることがうかがわれた。自由コメントでは、改善として会議の持ち方について意見が多く寄せられていた。保育の質向上に向けて、さまざまな会議・ミーティングの機会を設けているが、効率的効果的な会議運営に向けて、より一層の取り組みを期待したい。 |